

令和元年度 第2回つくば市公共交通活性化協議会 次第

日 時：令和元年 11 月 14 日（木） 10 時 00 分～

場 所：つくばイノベーションプラザ3階 大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

報告案件1 令和元年度上半期利用実績

- ・つくバス
- ・つくタク
- ・支線型バス実証実験
- ・路線バス実証実験

報告案件2 平成30年度広域連携バス利用実績

報告案件3 つくバス・つくタク小人割引の見直し

4 その他

5 閉 会

■配布資料一覧

令和元年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

令和元年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

資料1 令和元年度上半期利用実績

資料2 平成30年度広域連携バス利用実績

資料3 つくバス・つくタク小人割引の見直し

---参考資料---

参考資料1 つくば市バス路線図（改編前後）

参考資料2 支線型バス路線図

参考資料3 つくば市公共交通活性化協議会規約

令和元年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

令和元年11月14日現在

No	所 属	職 名	氏 名	備考
1	つくば市/筑波大学	顧問（交通政策担当）/特命教授	石田 東生	
2	茨城県政策企画部交通局交通政策課	交通政策課長	久保田 博文	
3	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官（企画調整）	山下 明	
4	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官（輸送監査）	皆川 誠司	
5	茨城県つくば中央警察署	交通課長	佐藤 英雄	
6	茨城県つくば北警察署	交通課長	櫻井 敦	
7	茨城県土木部土浦土木事務所	道路管理課長	中嶋 克寿	
8	国土技術政策総合研究所	道路交通研究部道路研究室長	横地 和彦	
9	国土技術政策総合研究所	高度道路交通システム研究室長	関谷浩孝	R01.09.11 委嘱
10	国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター	環境政策研究室長	松橋 啓介	
11	一般財団法人つくば都市交通センター	企画業務部長	奈良 欣憲	
12	一般社団法人茨城県バス協会	専務理事	澤畠 政志	
13	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	R01.09.03 委嘱
14	首都圏新都市鉄道株式会社	経営企画部推進役兼沿線事業課課長	小野 和弘	
15	関東鉄道株式会社	常務取締役自動車部長	武藤 成一	
16	ジェイアールバス関東株式会社 土浦支店	支店長	藤岡 孝二	
17	株式会社 セキショウキャリアプラス	代表取締役社長	渡邊 誠	R01.11.08 委嘱
18	つくば市商工会	事務局長	斎藤 利弥	
19	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	副会長兼常務理事	吉場 勉	
20	つくば市工業団地企業連絡協議会	副会長	笹倉 敬司	
21	一般社団法人つくば観光コンベンション協会	事務局長	星野 弘	
22	つくば市PTA連絡協議会	副会長	二宮 君弘	
23	筑波学園タクシー協同組合	事務局長	鈴木 誠	
24	関東鉄道労働組合	執行委員	谷田部 正利	
25	つくば市都市計画審議会	委員	大澤 貴子	
26	つくば市区会連合会筑波地区	代表区長	木澤 寛伸	
27	つくば市区会連合会大穂地区	代表区長	川根 義行	
28	つくば市区会連合会豊里地区	代表区長	坂本 義治	
29	つくば市区会連合会桜地区	代表区長	一色 喜美子	
30	つくば市区会連合会谷田部地区	代表区長	飯田 哲雄	
31	つくば市区会連合会荃崎地区	代表区長	小原 正彦	
32	つくば市	保健福祉部長	水野 忠幸	
33	つくば市	建設部長	上野 義光	
34	つくば市	都市計画部長	中根 祐一	

※敬称略

令和元年度 第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

日時： 令和元年11月14日（木曜日）

場所： つくばイノベーションプラザ
3階 大会議室

出入口	傍聴席				
受付		つくば市工業団地 企業連絡協議会 笹倉 委員	つくば市 社会福祉協議会 吉場 委員	つくば市商工会 斎藤 委員	(株)セキショウ キャリアプラス 渡邊 委員
事務局					
	つくば観光 コンベンション協会 星野 委員				ジェイアールバス 関東株土浦支店 藤岡 委員
	つくば市PTA 連絡協議会 二宮 委員				関東鉄道株 武藤 委員
	筑波学園タクシー 協同組合 鈴木 委員				首都圏新都市 鉄道株 小野 委員
	関東鉄道 労働組合 谷田部 委員				茨城県バス協会 澤島 委員
	つくば市 都市計画審議会 大澤 委員				つくば都市交通 センター 奈良 委員
	つくば市区会連合会 筑波地区 木澤 委員				国立環境研究所 松橋 委員
					国土技術政策 総合研究所 横地 委員
	つくば市区会連合会 豊里地区 坂本 委員				茨城県土木部 土浦土木事務所 中嶋 委員
	つくば市区会連合会 谷田部地区 飯田 委員				茨城県 つくば北警察署 櫻井 委員
	つくば市区会連合会 荃崎地区 小原 委員				茨城県 つくば中央警察署 佐藤 委員
	つくば市 水野 委員				茨城運輸支局 皆川 委員
	つくば市 上野 委員				茨城運輸支局 山下 委員
	つくば市 中根 委員				茨城県政策企画部 交通局交通政策課 久保田 委員
			つくば市 筑波大学 石田 委員		
スクリーン					
随行者席					

令和元年度上半期利用実績

つくバス・つくタク・
支線型バス実証実験・路線バス実証実験

令和元年(2019年)11月14日(木)
つくば市都市計画部総合交通政策課

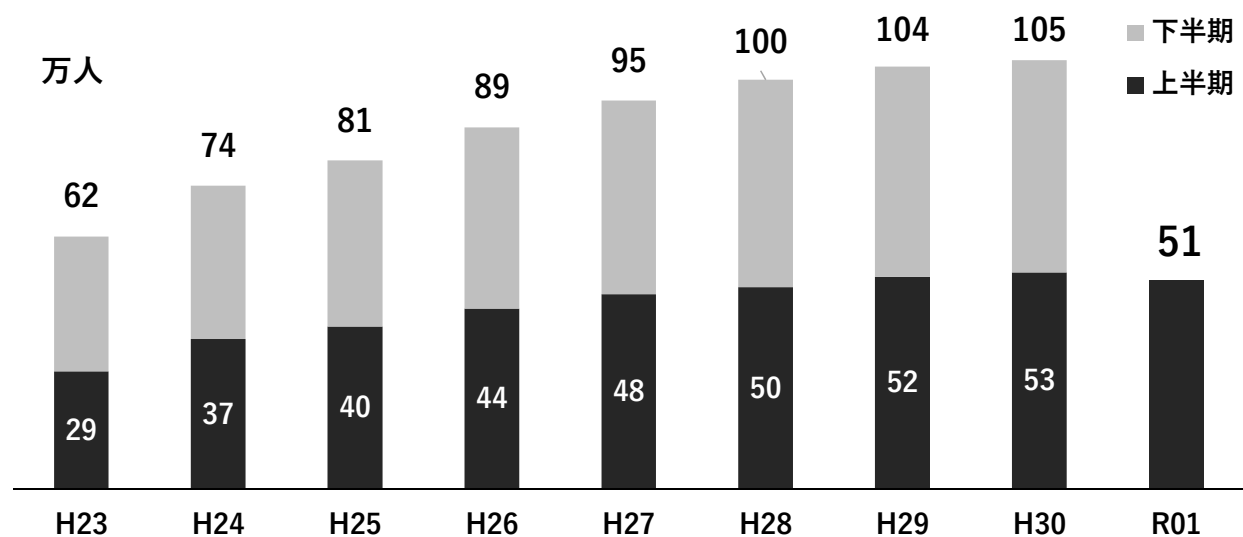
令和元年度上半期 つくバス利用実績 (4月1日～9月30日)



つくバス利用者数

- 令和元年度上半期の利用者数は510,593人で、1日当たり平均2,790人の利用があった。
- 前年同期に比べ、延べ利用者数は21,231人減少した。
特に5月、6月の利用者が前年同月より5,000人以上減少していることが大きく影響している。

▼年度別利用者数



▼年度別・月別利用者数一覧

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01		
	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	前年比増減[人]	前年同月比[%]
4月	43,909	61,284	64,537	72,833	78,099	82,774	85,331	87,370	84,745	▲ 2,625	97.0
5月	47,972	63,538	68,640	74,767	77,797	83,169	87,916	91,341	85,965	▲ 5,376	94.1
6月	50,391	62,920	67,881	74,837	83,722	87,943	90,000	93,173	87,038	▲ 6,135	93.4
7月	49,555	62,577	69,312	75,830	83,208	83,622	86,868	89,786	88,435	▲ 1,351	98.5
8月	48,441	59,775	64,553	71,800	77,103	76,183	84,187	85,996	82,431	▲ 3,565	95.9
9月	47,731	57,799	63,039	72,685	77,768	81,939	85,853	84,158	81,979	▲ 2,179	97.4
10月	54,292	65,023	70,272	77,412	83,433	87,768	90,218	93,105			
11月	56,275	63,846	70,956	74,872	79,271	88,107	88,780	91,603			
12月	53,625	61,111	67,036	75,254	80,066	84,288	88,797	88,491			
1月	53,011	60,715	64,781	71,805	73,812	78,349	81,494	79,391			
2月	55,053	60,304	65,003	69,833	76,588	82,737	79,119	80,961			
3月	59,187	65,639	70,560	76,104	82,970	87,783	88,984	87,613			
上半期	287,999	367,893	397,962	442,752	477,697	495,630	520,155	531,824	510,593	▲ 21,231	96.0
年間	619,442	744,531	806,570	888,032	953,837	1,004,662	1,037,547	1,052,988	-	-	-
月平均	51,620	62,044	67,214	74,003	79,486	83,722	86,462	87,749	85,099	▲ 2,650	
日平均	1,692	2,040	2,210	2,433	2,606	2,752	2,843	2,885	2,790	▲ 95	2

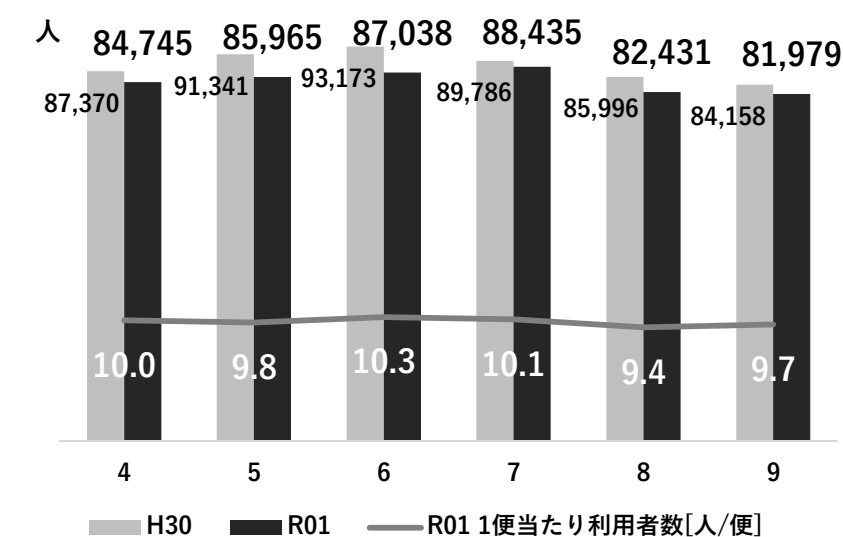
つくバス利用者数（上半期比較）

- 既存路線の上半期利用者数は、ルート変更がなかった南部シャトルで増加傾向にある。一方で、ルート変更を実施した小田・谷田部・自由ヶ丘シャトルは減少傾向にある。北部シャトルも前年同期より減少しているが、第2四半期に入り、単月で上回る月が出るなど回復傾向にある。
- 定時性確保のための発着時刻適正化及び停留所数の倍増化等の実施、並びにルート変更による路線長大化の結果、運行便数が減少し、延べ利用者数も減少した。なお、1便当たり利用者数は全路線平均で1.2人増加した。

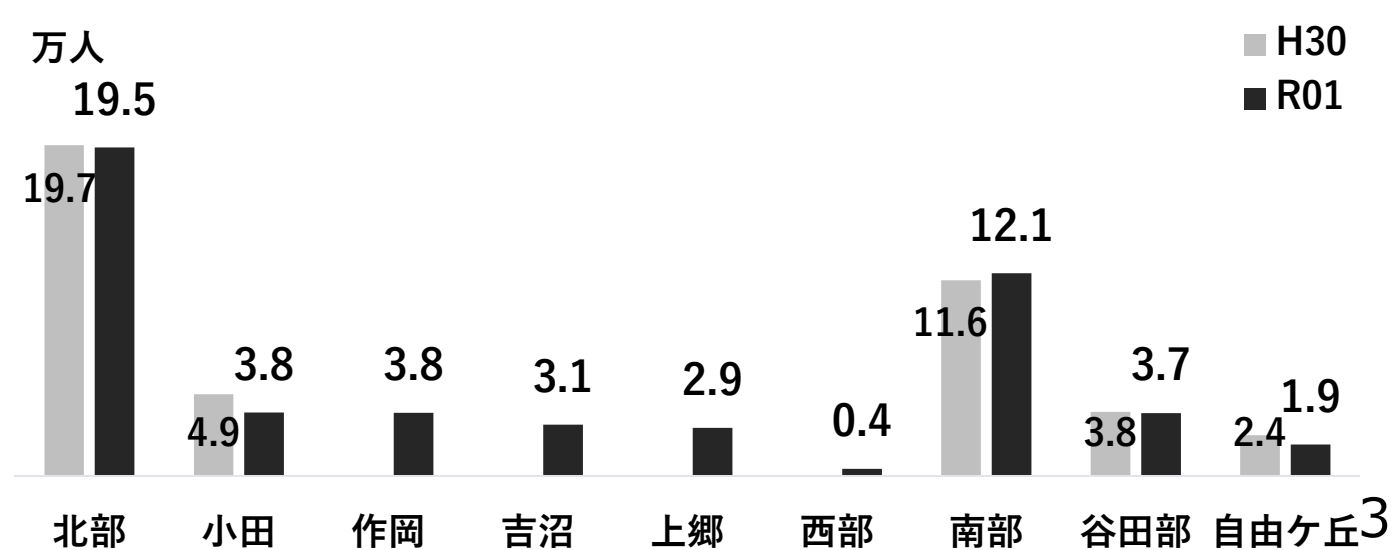
※新規路線の上郷・西部シャトル、既存から大幅なルート変更があった作岡・吉沼シャトルの比較は行わない。

▼路線別利用者数一覧 (上半期比較)	北部	小田	作岡	吉沼	上郷	西部	南部	谷田部	自由ヶ丘	9路線合計	1日当たり
H30 上半期利用者数[人]	196,676	48,548	—	—	—	—	116,450	38,155	24,269	531,824	2,906
R01 上半期利用者数[人]	195,280	37,738	37,582	30,540	28,640	4,229	120,522	37,352	18,710	510,593	2,790
比較 対H30年度増減数[人]	▲ 1,396	▲ 10,810	—	—	—	—	4,072	▲ 803	▲ 5,559	▲ 21,231	▲ 116
H30 1便当たり利用者数[人/便]	16.8	5.3	—	—	—	—	9.9	4.5	4.4	8.7	
R01 1便当たり利用者数[人/便]	19.4	6.9	6.0	7.6	8.7	1.3	11.4	6.8	5.7	9.9	

▼月別利用者数（上半期比較）



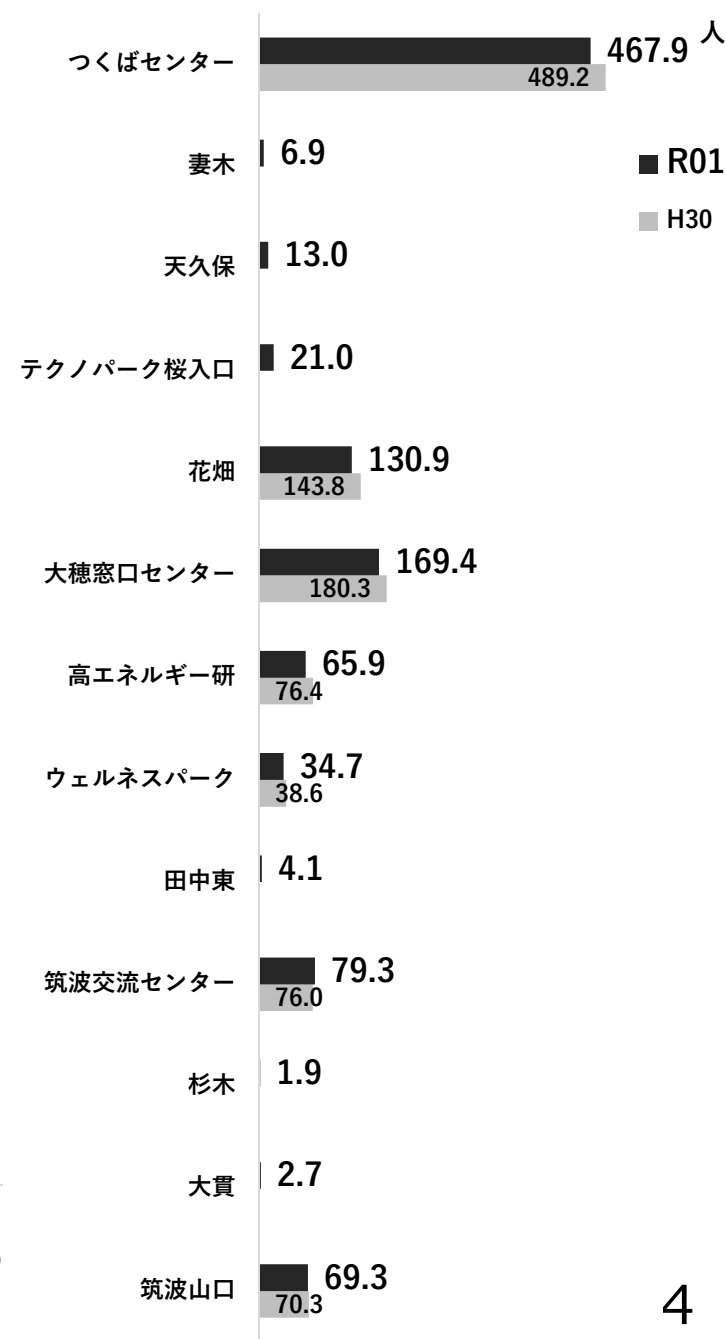
▼路線別利用者数（上半期比較）



つくバスシャトル別利用状況（北部）

- 1日当たり利用者数は、前年同期に比べ、0.7%減少している（単月では7月、9月は前年同月を上回っている）。1便当たり利用者数は、全体便数が64便から55便に減少したことを受け、15.5%の増加に転じている。
- 停留所別利用者動向について、筑波山口的利用者が新設の杉木・大貫に、ウェルネスパークの利用者が田中東に分散したものと推測される。つくばセンター～花畑間の新設停留所にも新規利用者が定着した一方で、花畑～高エネルギー研間の既存停留所は、運行便数の減少などによるものと思われる利用者の減がみられた。
- 大型バス導入の代替策として新たに導入した臨時便の利用状況については、朝の上り便数を確保したことにより、筑波山口からの乗客は6:50筑波山口発臨時便に、大穂窓口センターからの乗客は6:40筑波山口発5便に分散乗車が図られた。この結果、朝の上り便と夜の下り便については前年同期よりも利用者が増加している。

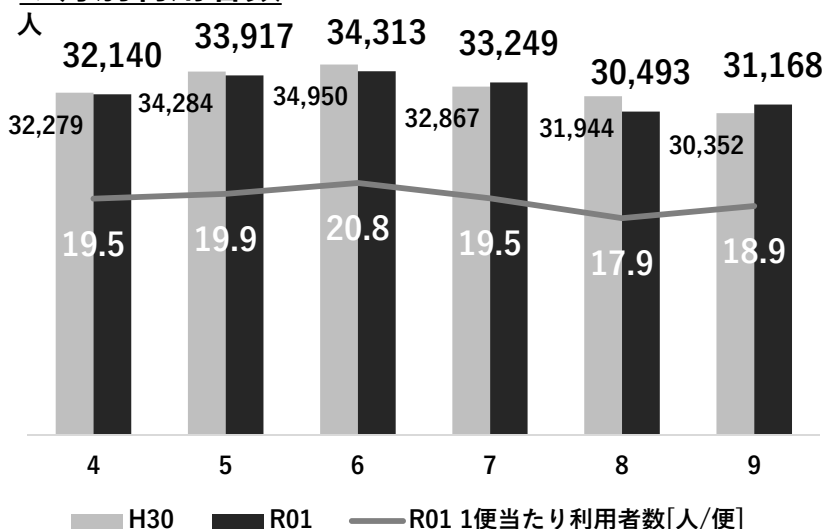
▼停留所別利用者数（1日当たり）



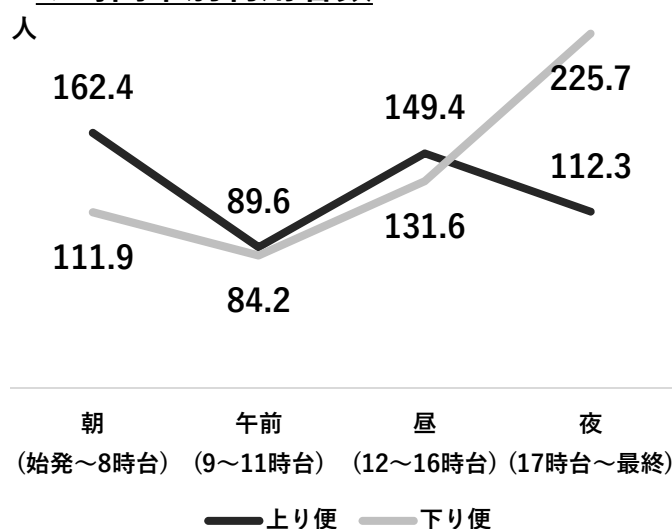
▼日別・便別

利用者数	日	便
H30	1,074.7	16.8
R01	1,067.1	19.4
増減数(R01-H30)	▲ 7.6	2.6
増減率(R01/H30)	▲ 0.7%	15.5%

▼月別利用者数



▼時間帯別利用者数



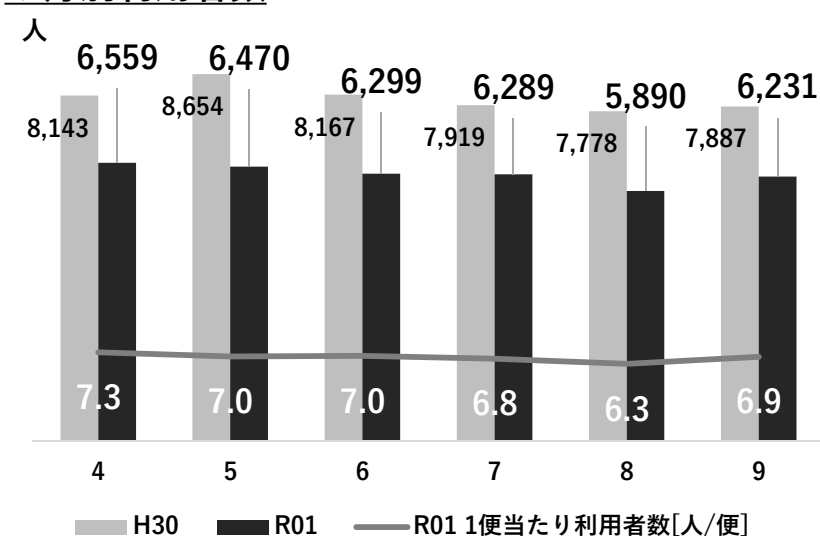
つくバスシャトル別利用状況（小田）

- 1日当たり利用者数は、前年同期に比べ、22.3%減少している。1便当たり利用者数は、全体便数が50便から30便に減少したことを受け、29.6%の増加に転じている。
- 停留所別利用者動向について、既存停留所を前年同期と比較すると、テクノパーク桜の減少が著しいが、北部シャトルにテクノパーク桜入口が新設されたことにより利用シャトルの転換も図られていると推測される。
- 新設停留所のさくらの森で一定の利用がみられるほか、フィーダー路線の横町～松栄団地間は1日14便で5.4人、北太田～大穂窓口センター間は1日7便で3.0人利用されていることから、利用が定着していると推測される。

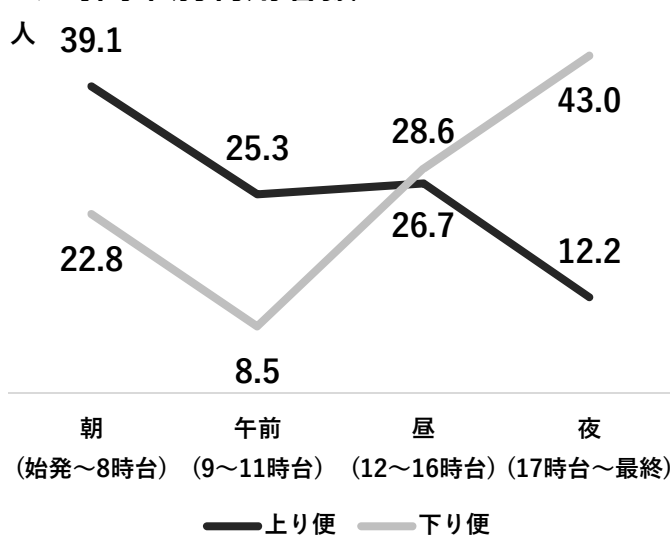
▼日別・便別
利用者数

	日	便
H30	265.3	5.3
R01	206.2	6.9
増減数(R01-H30)	▲ 59.1	1.6
増減率(R01/H30)	▲ 22.3%	29.6%

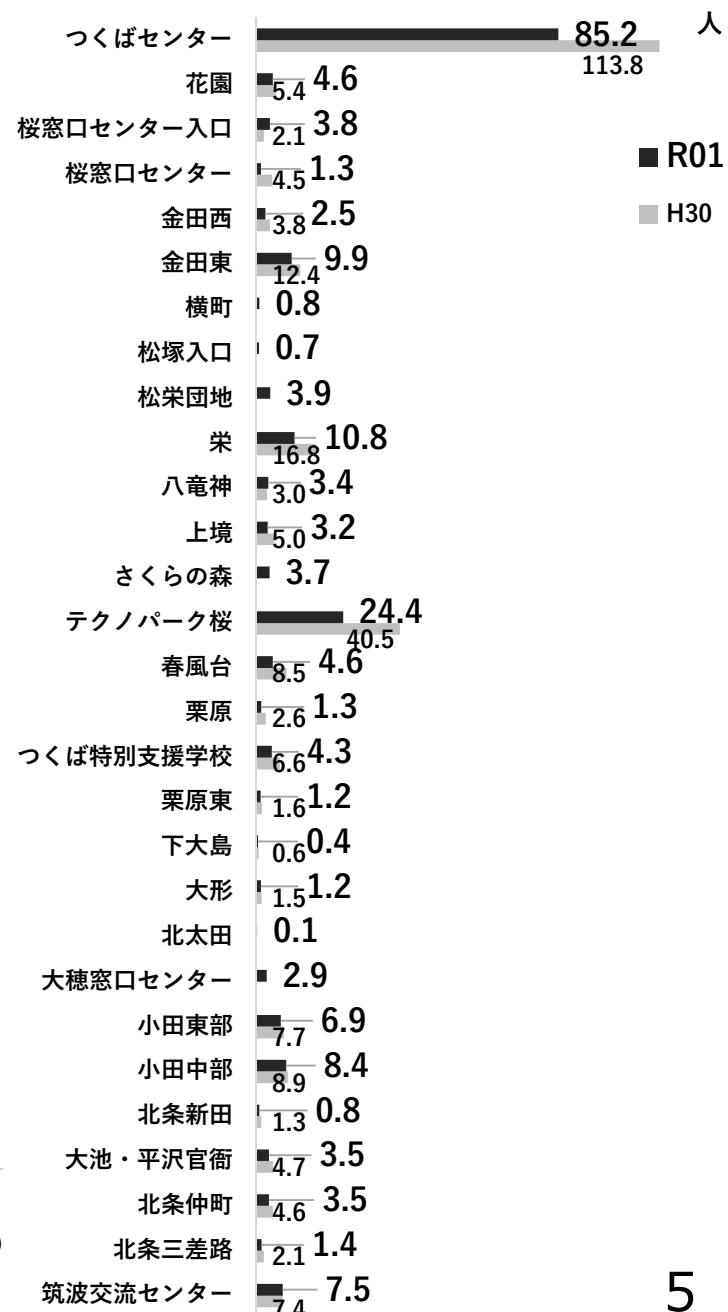
▼月別利用者数



▼時間帯別利用者数



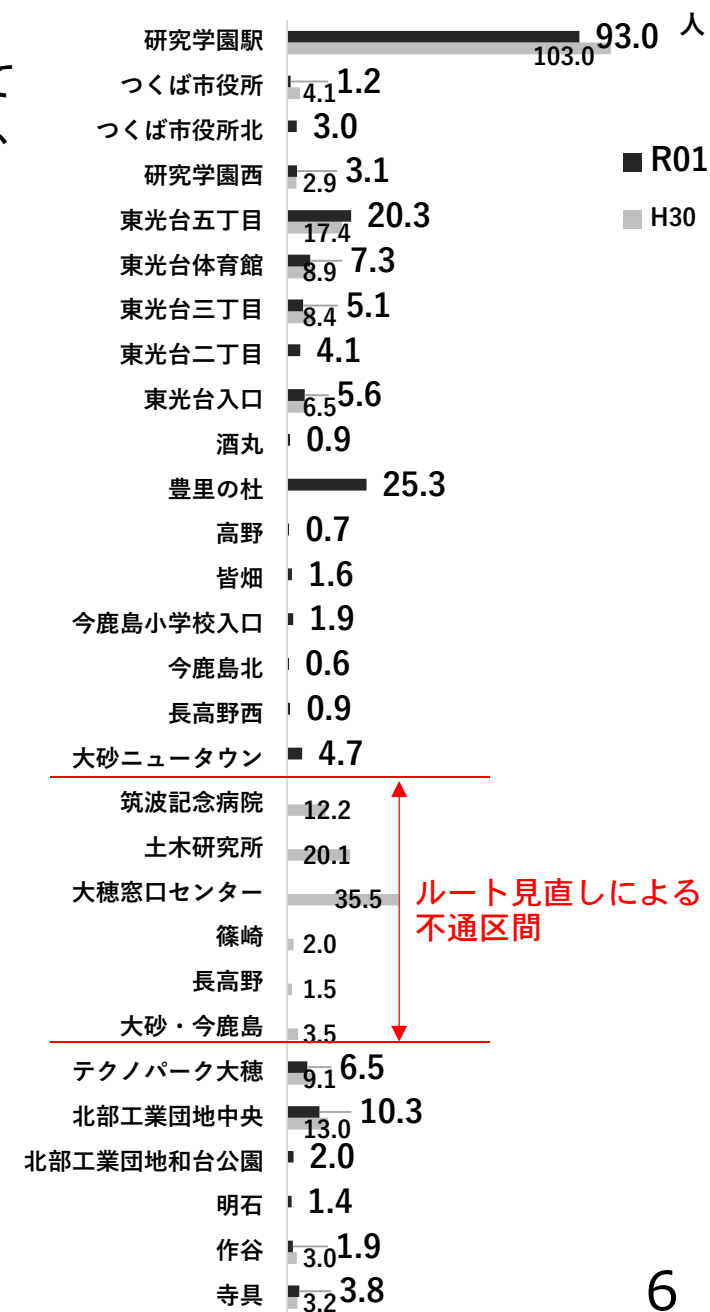
▼停留所別利用者数（1日当たり）



つくバスシャトル別利用状況（作岡）

- 作岡シャトルは37,582人の利用（1便当たり平均6.0人）があった。
- 停留所別利用者動向について、既存停留所を前年同期と比較すると、東光台地区内の停留所は合計で1日当たり平均42.5人の利用があり、1.2人増加している。固定の通勤利用者が多いと思われる北部工業団地の停留所についても、途中のルートに変更が生じているが同等の利用者数を維持している。
- ルート変更により新たに停車することになった酒丸～大砂ニュータウン間については、豊里の杜の利用者が最も多いが、要望を受けて新設した皆畑～今鹿島北間の停留所については利用者数は少ない。
- 時間帯別利用者数は、夜の下り便利用者数が42.7人と最も多いが、これは後述する上郷シャトルの最終便が早いいため、帰宅時には作岡シャトルを利用している状況があるものと推測される。

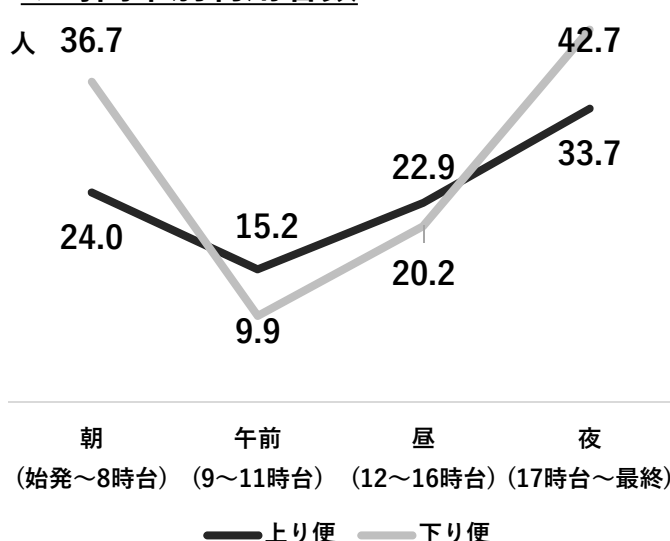
▼停留所別利用者数（1日当たり）



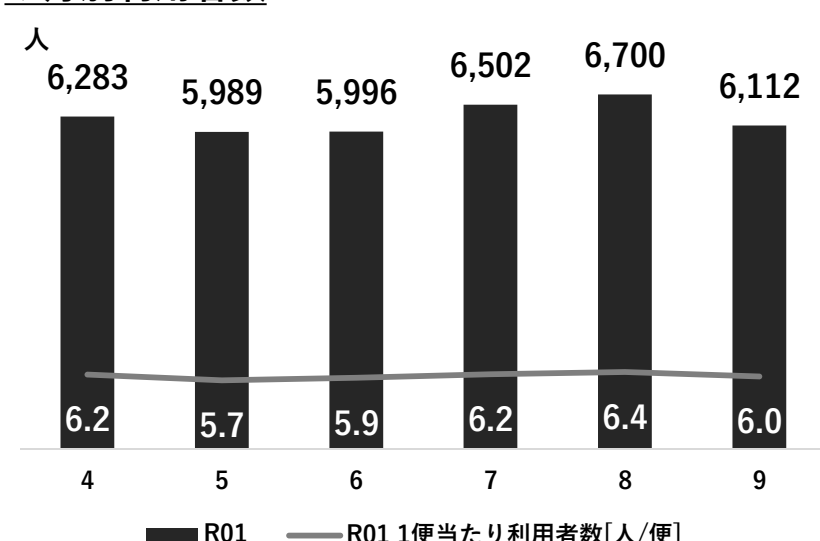
▼日別・便別

利用者数	日	便
R01	205.4	6.0

▼時間帯別利用者数



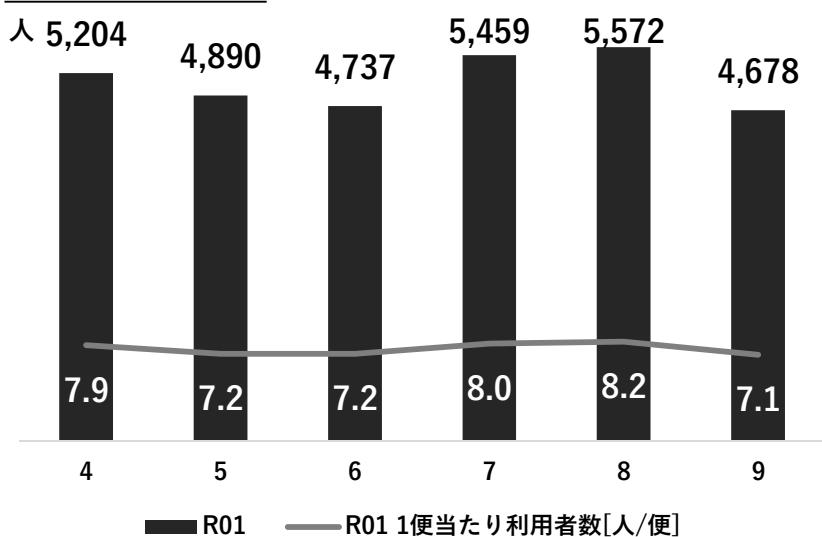
▼月別利用者数



つくバスシャトル別利用状況（吉沼）

- 吉沼シャトルは30,540人の利用（1便当たり平均7.6人）があった。
- 停留所別利用者動向について、既存停留所を前年同期と比較すると、学園の森2丁目の利用者数が10人以上減少している。上郷シャトルの独立により全体便数が46便から22便に減少したことも、利用者数の減少に大きく影響していると思われる。
- ルート変更により新たに停車することになった学園の森2丁目北～西高野間の利用者動向としては、学園の森2丁目、筑波記念病院、土木研究所の利用者が、それぞれ新設した学園の森2丁目北、国土地理院、教職員支援機構に分散したものと推測される。一方で、新設の前野小学校入口については利用者数が伸びていない。
- 吉沼～とよさと病院間の停留所は、1日当たり平均で10.1人の利用があり、同等の利用者数を維持している。

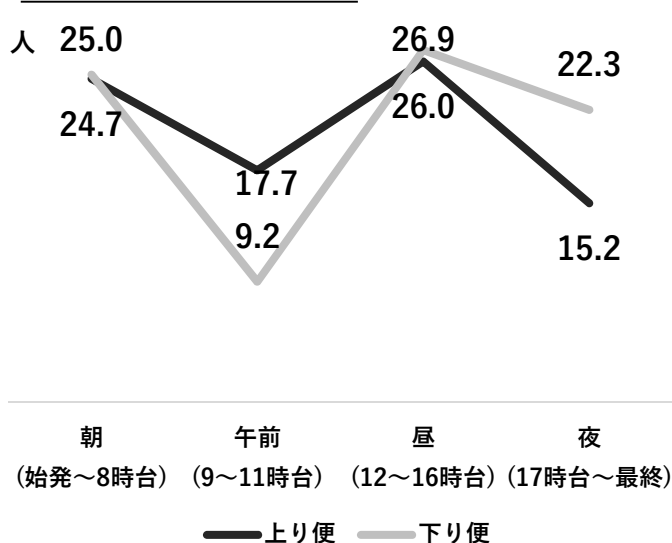
▼月別利用者数



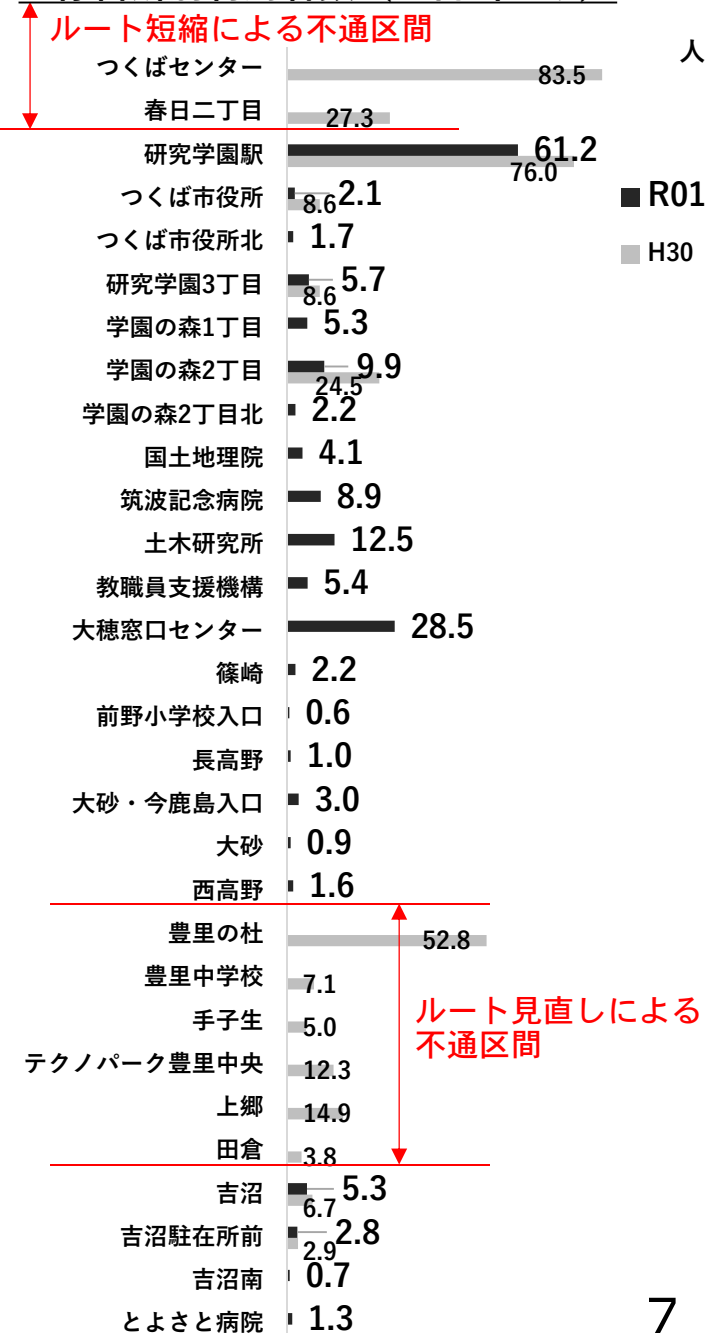
▼日別・便別

利用者数	日	便
R01	166.9	7.6

▼時間帯別利用者数



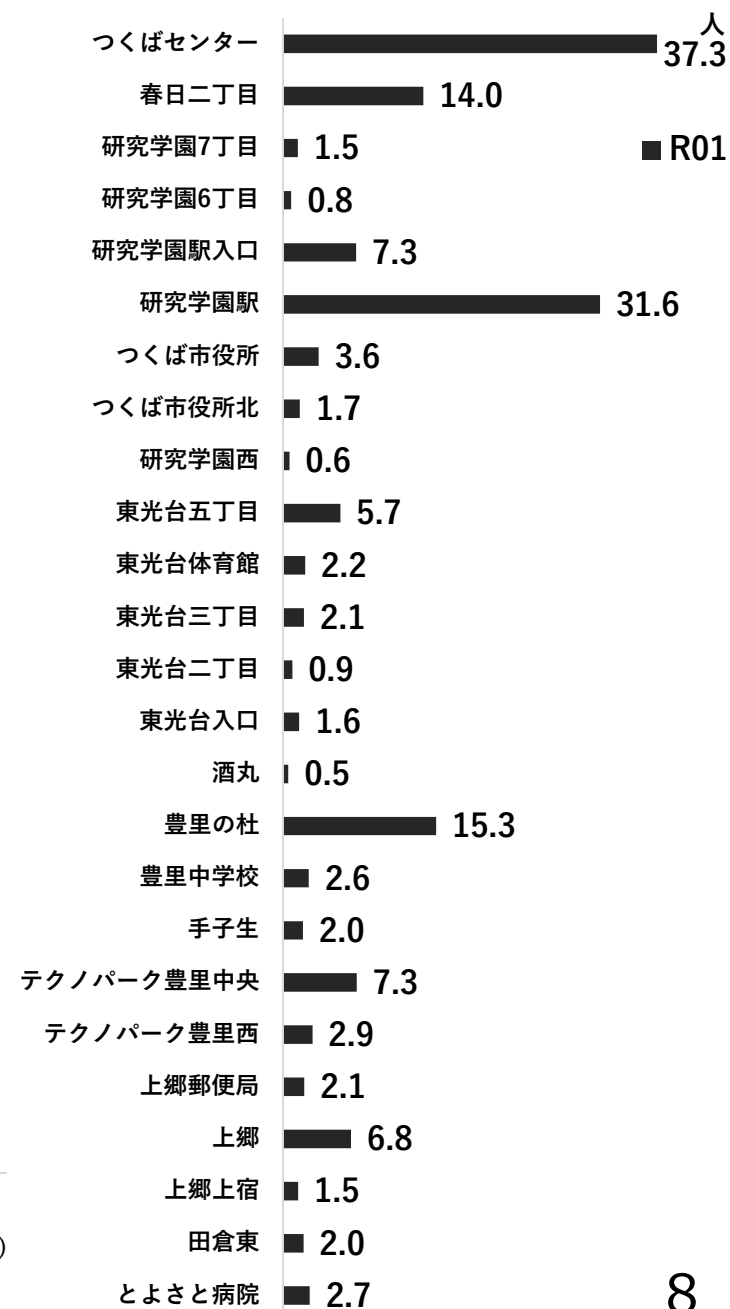
▼停留所別利用者数（1日当たり）



つくバスシャトル別利用状況（上郷）

- 上郷シャトルは28,640人の利用（1便当たり平均8.7人）があった。
- 停留所別利用者動向について、旧吉沼シャトルからの独立を機にルート変更を行った東光台地区内の停留所で1日当たり平均12.5人の利用があった。作岡シャトルの東光台地区内利用者と合わせると、前年同期の吉沼シャトルでの同地区利用者数から13.7人増加したことになる。
- 1便当たり利用者数は、北部・南部シャトルに続いて高い数値であり、利用者が定着している。
- 時間帯別利用者数は、下り最終便が18:45つくばセンター発であることから、都内または土浦・牛久方面に通勤・通学している利用者の帰宅需要を十分に満たせていない。

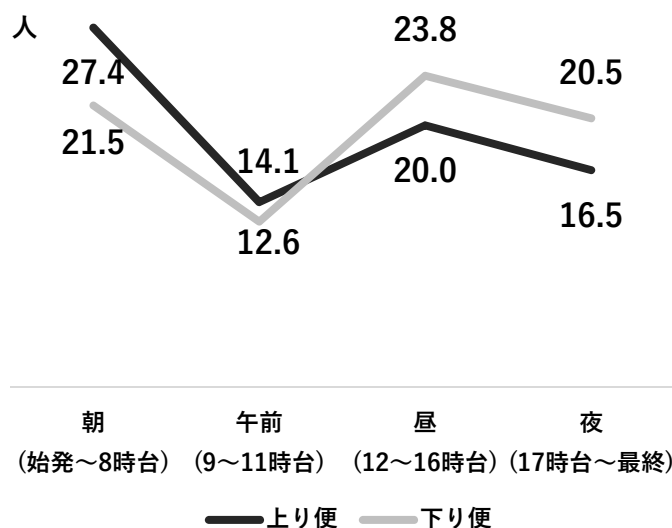
▼停留所別利用者数（1日当たり）



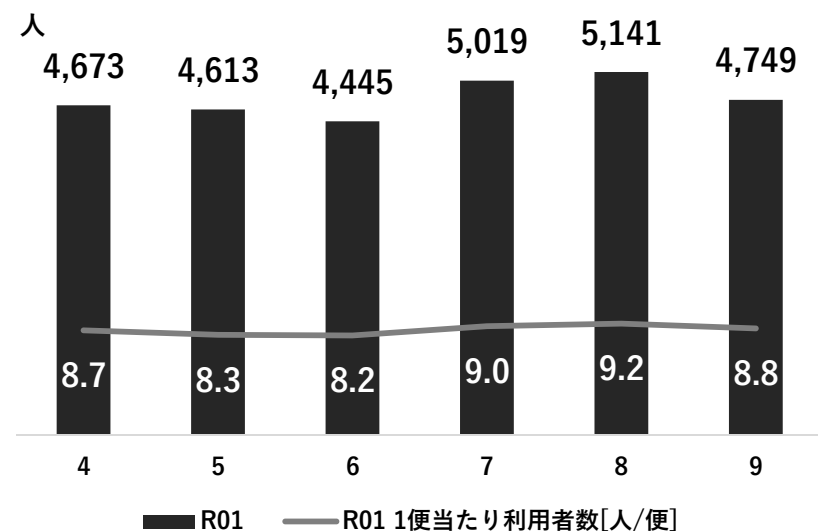
▼日別・便別利用者数

	日	便
R01	156.5	8.7

▼時間帯別利用者数



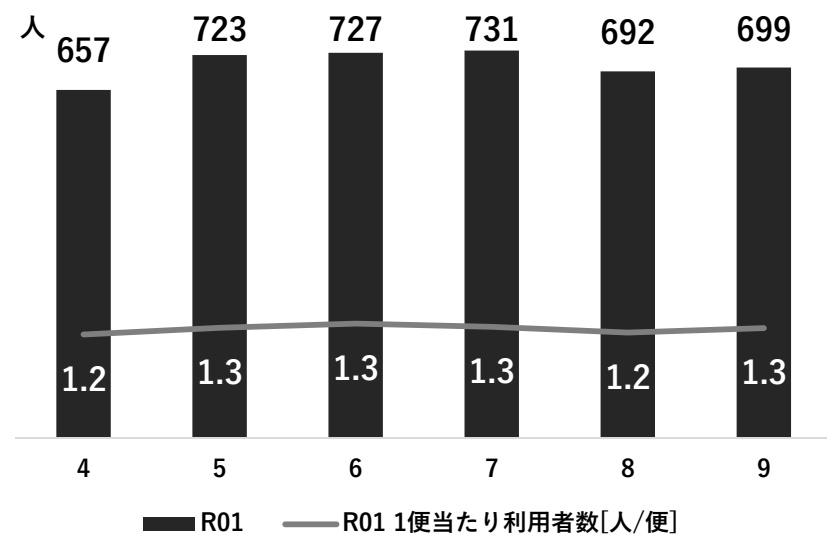
▼月別利用者数



つくバスシャトル別利用状況（西部）

- 西部シャトルは4, 229人の利用があった。
- 1 便当たり利用者数が平均1.3人と他シャトルに比較して極端に少ない結果となった。
- 停留所別利用者動向について、上り便は各停留所から万博記念公園駅、みどりの駅に向かう移動が、下り便はみどりの駅、万博記念公園駅から各停留所に向かう移動がみられた。万博記念公園駅をまたいだ利用者数は多くはみられなかった。
- フィーダー路線の富士見ヶ丘団地は、1 日11便で1.4人利用があり、みどりの駅、万博記念公園駅に次ぐ利用者数であることから、利用が定着しているとみられる。
- 8 月に区会回覧で、西部シャトル沿線地区に対してバス利用を促したが、利用者数に変化は生じていない。

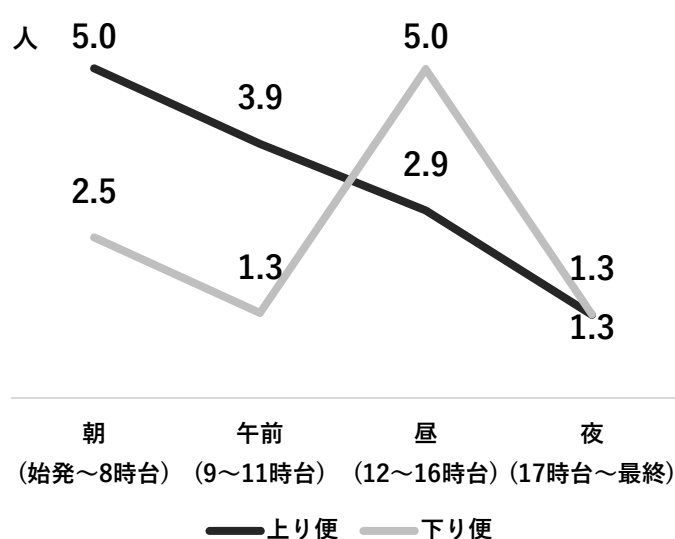
▼月別利用者数



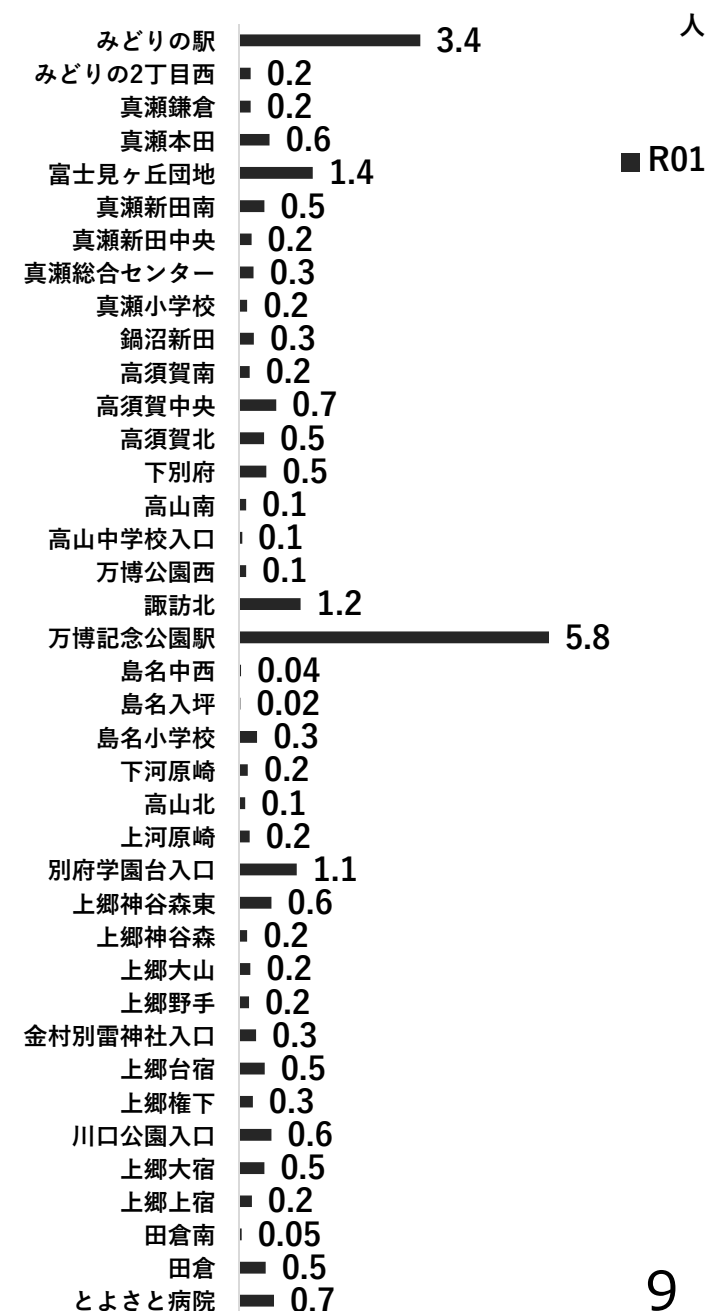
▼日別・便別

利用者数	日	便
R01	23.1	1.3

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数（1 日当たり）



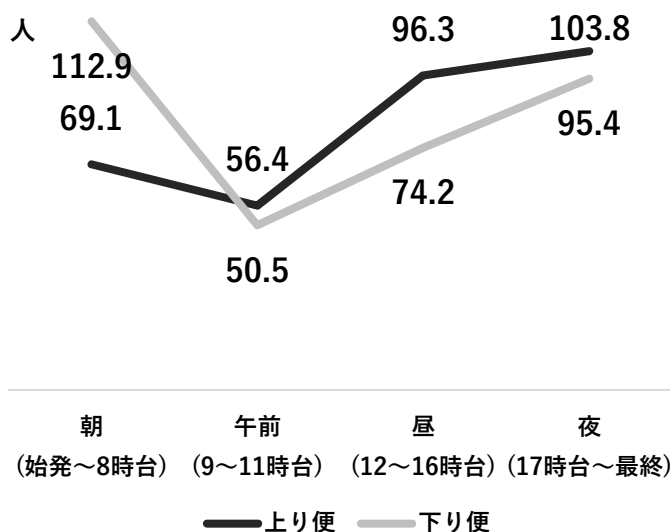
つくばシャトル別利用状況（南部）

- 1日当たり利用者数は、前年同期に比べ、3.5%増加した。四半期別では、第1四半期で1.6%、第2四半期で5.5%の増加であり、急速に伸びている。
- 停留所別利用者動向について、朝に各停留所からつくばセンターに向かう移動が多くみられた。また、つくばセンターと農林団地中央（農研機構）・理化学研究所等の研究施設間、牧園中央と高崎中央（荃崎第一小）間の移動も顕著にみられた。
- つくばセンター、松代、高見原南の利用者は、それぞれ新設された小池、松代一丁目、新山の停留所に分散したものと推測される。
- 果樹研究所入口、榎戸、田宮町などの新設停留所についても利用者の定着がみられた。

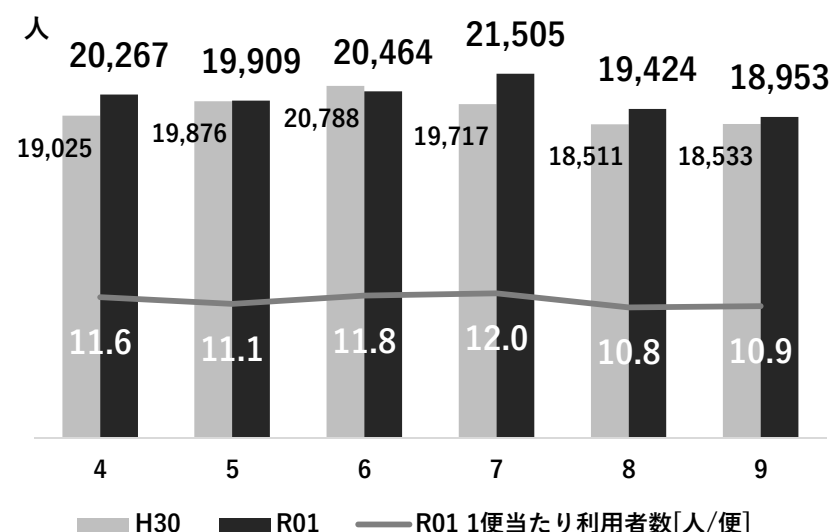
▼日別・便別
利用者数

	日	便
H30	636.3	9.9
R01	658.6	11.4
増減数(R01-H30)	22.3	1.4
増減率(R01/H30)	3.5%	14.2%

▼時間帯別利用者数



▼月別利用者数



▼停留所別利用者数（1日当たり）



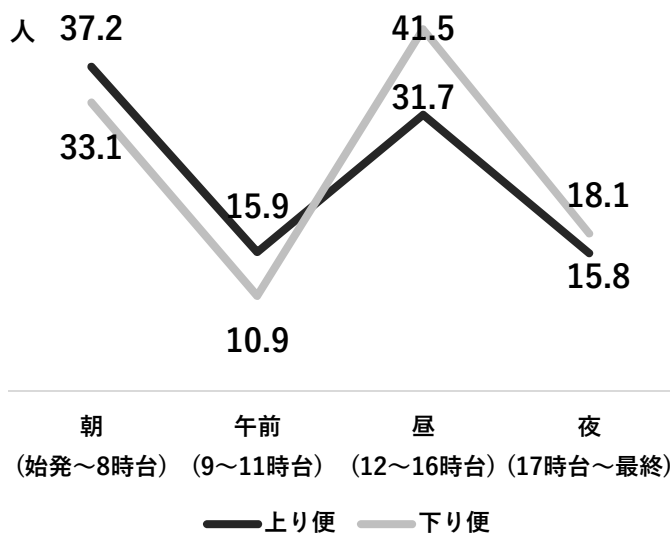
つくバスシャトル別利用状況（谷田部）

- 1日当たり利用者数は、前年同期に比べ、2.1%減少している。1便当たり利用者数は、全体便数が46便から30便に減少したことを受け、50.1%の増加に転じている。
- 停留所別利用者動向について、各住宅地や学校と研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅間の移動が多くみられた。とりわけ、万博記念公園駅と島名十字路北（島名小）間は通学利用が多くみられた。
- みどりの駅及び周辺に新設されたみどりの2丁目、みどりの駅入口はみどりの駅周辺の開発状況に応じて利用者が順調に増加している。
- 平成30年10月の改編で新設したみどりの東、谷田部南小学校及び後述する自由ヶ丘シャトルからの利用転換がみられる緑が丘団地入口は、利用者の定着がみられた。

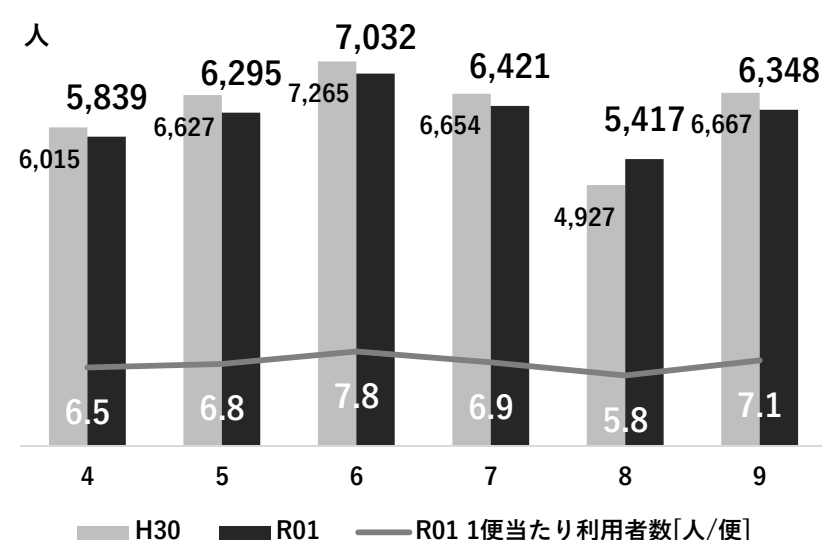
▼日別・便別

利用者数	日	便
H30	208.5	4.5
R01	204.1	6.8
増減数(R01-H30)	▲4.4	2.3
増減率(R01/H30)	▲2.1%	50.1%

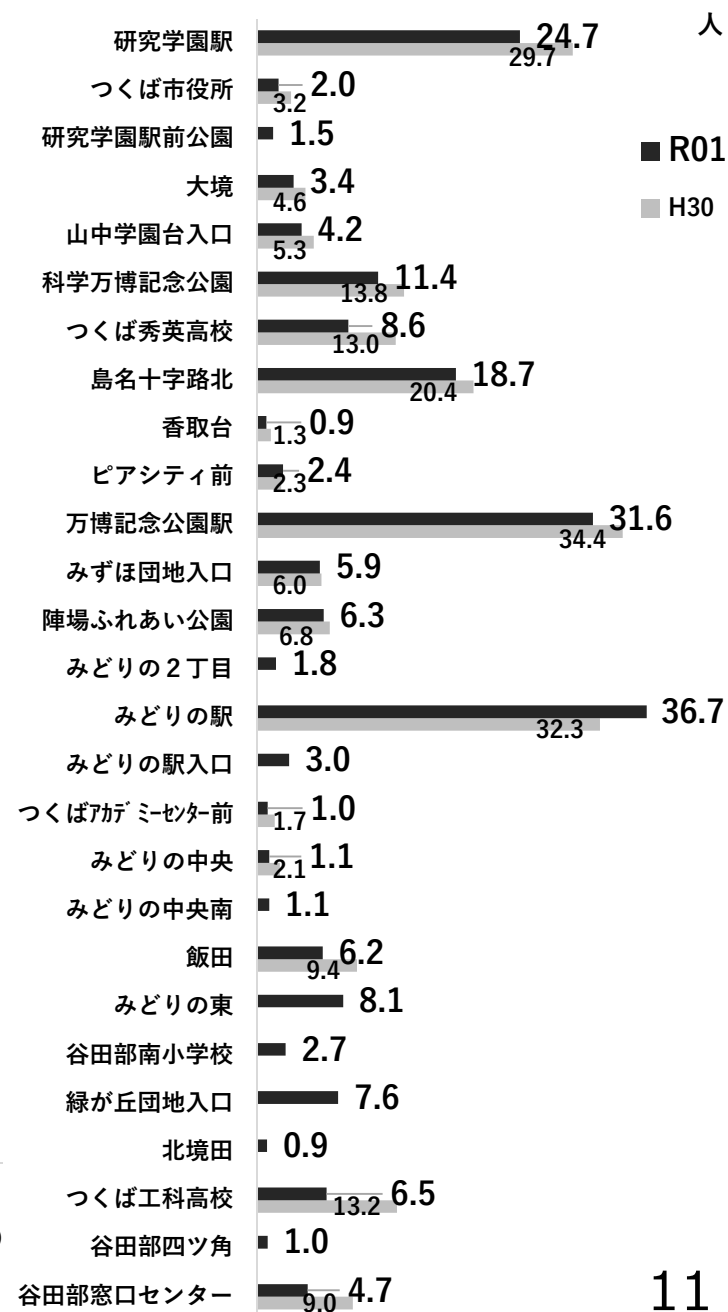
▼時間帯別利用者数



▼月別利用者数



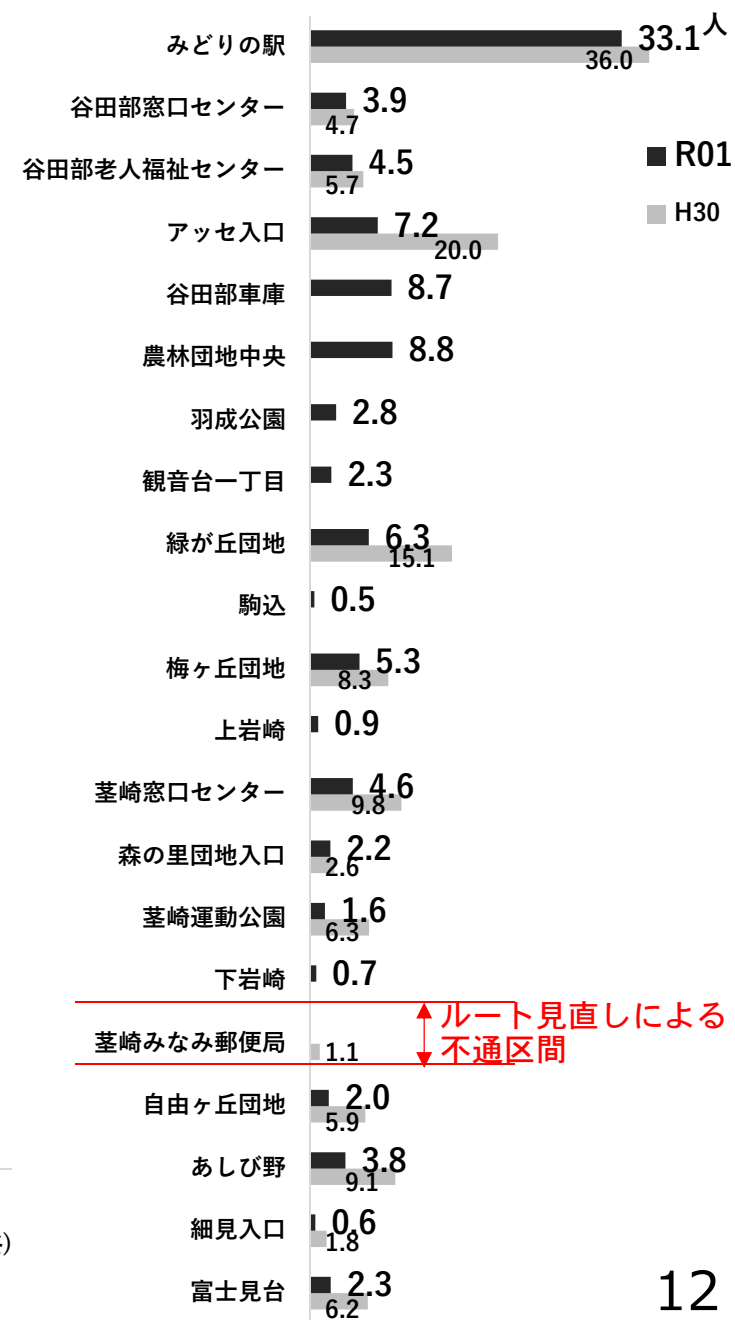
▼停留所別利用者数（1日当たり）



つくバスシャトル別利用状況（自由ヶ丘）

- 1日当たり利用者数は、前年同期に比べ、22.9%減少している。1便当たり利用者数は、全体便数が30便から18便に減少したことを受け、28.5%の増加に転じている。
- 停留所別利用者動向について、アッセ入口が商業施設閉鎖に伴い著しく減少している。緑が丘団地については、ルート変更に伴いみどりの駅への速達性が損なわれるため、谷田部シャトルに新設した、緑が丘団地入口への利用転換が図られたことによる減少がみられた。
- 新設した羽成公園、観音台一丁目のほか、ルート変更により新たに停車することになった谷田部車庫（筑波学園病院最寄り）、農林団地中央で利用者の定着がみられた。
- 荃崎窓口センター～富士見台間の停留所は全般的に減少がみられるが、これは後述する荃崎地区路線バスへ転換を図ったものと推測される。

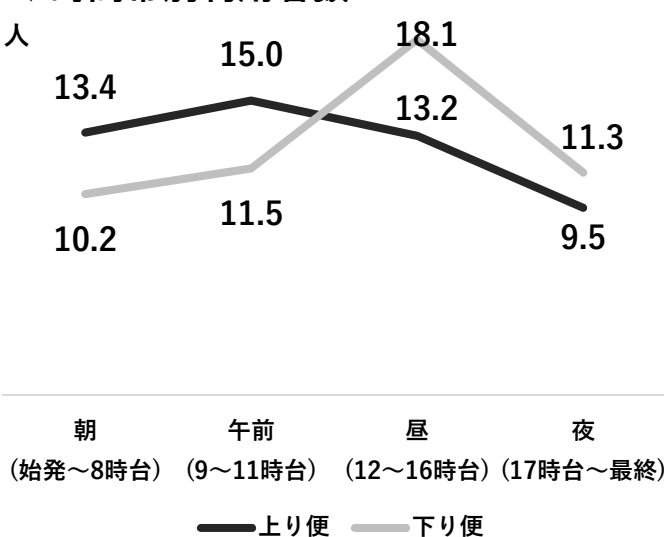
▼停留所別利用者数（1日当たり）



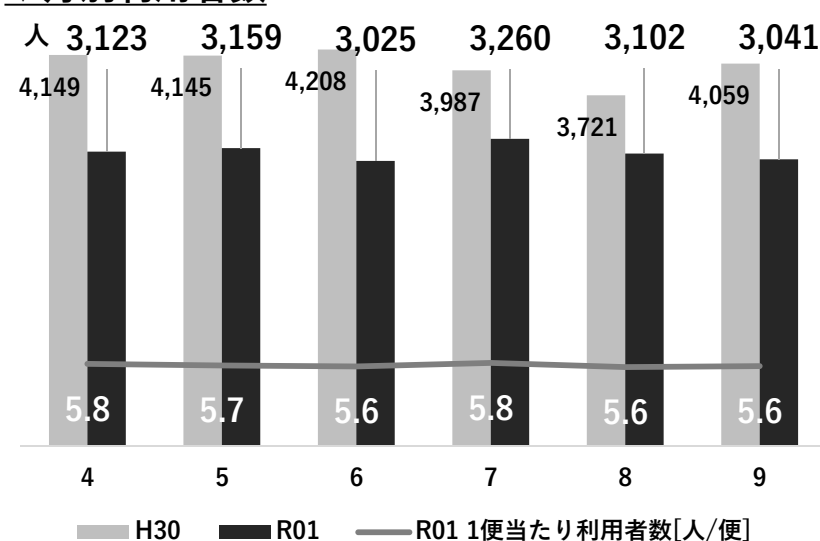
▼日別・便別利用者数

	日	便
H30	132.6	4.4
R01	102.2	5.7
増減数(R01-H30)	▲ 30.4	1.3
増減率(R01/H30)	▲ 22.9%	28.5%

▼時間帯別利用者数



▼月別利用者数



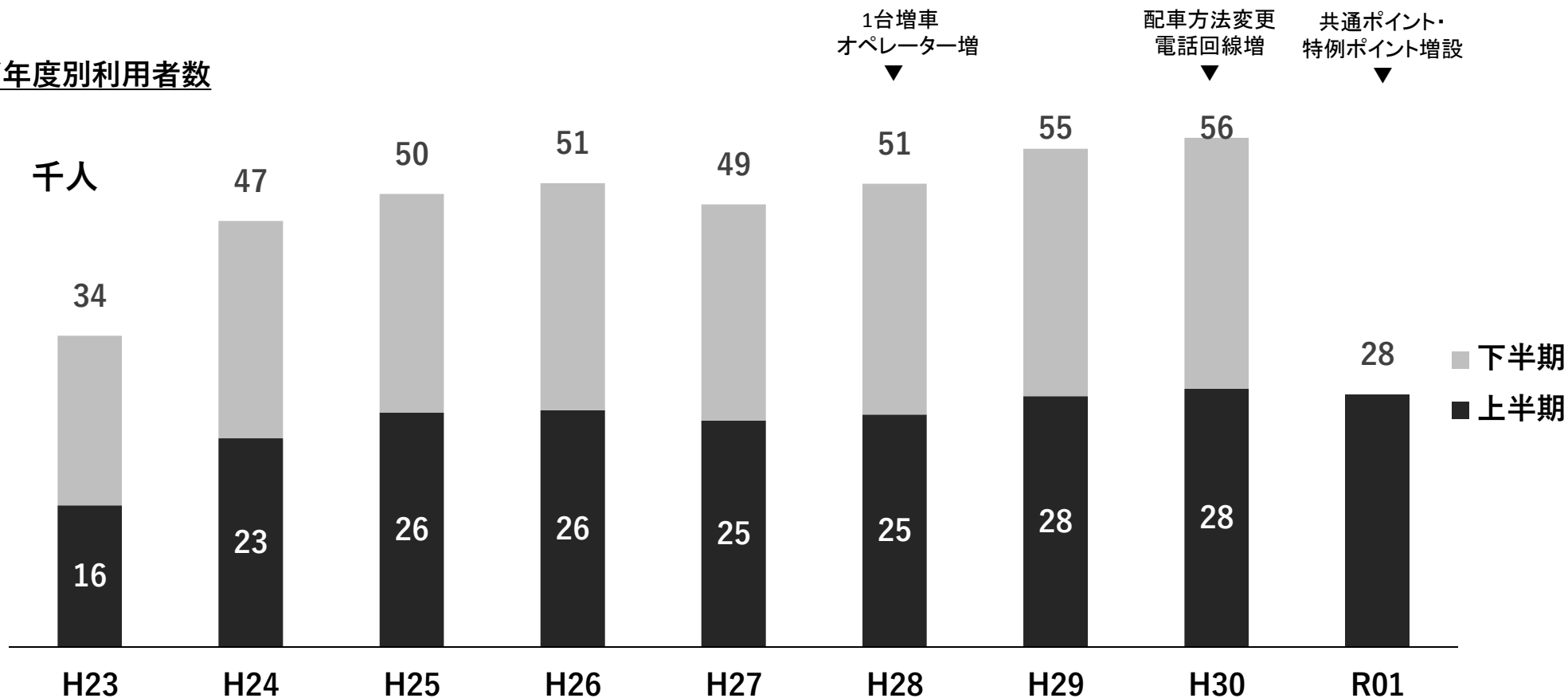
令和元年度 上半期つくたく利用実績 (4月1日～9月30日)



つくタク利用者数

- 令和元年度上半期の利用者数は27,716人で、平成30年度上半期(28,308人)と同程度の利用者数である。

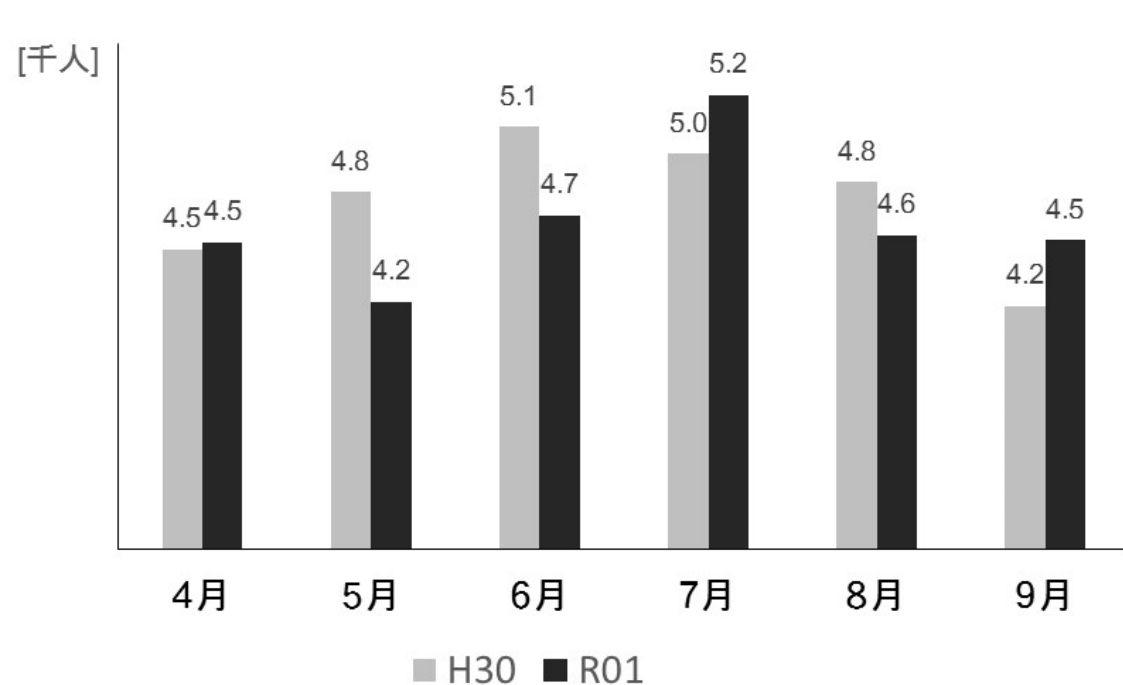
▼年度別利用者数



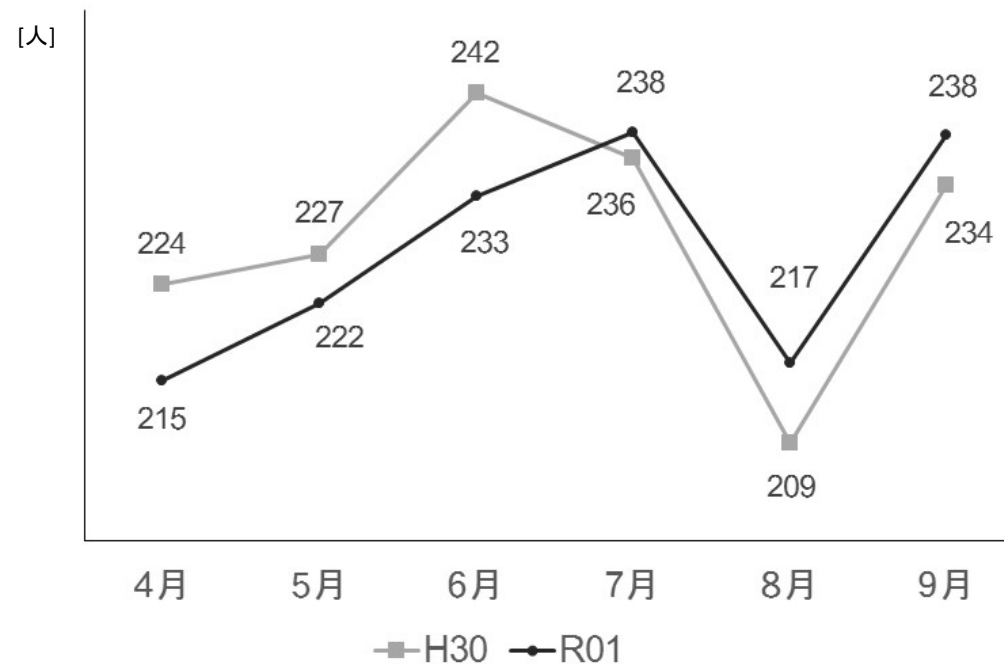
(人)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
上半期	15,508	22,881	25,709	25,959	24,807	25,489	27,504	28,308	27,716
通期	34,120	46,720	49,683	50,865	48,544	50,811	54,636	55,858	

- 前年同期と比較して、1日当たりの利用者数は4～6月は減少、7～9月は増加している。7月以降、特に谷田部、桜地区で利用者が増加している。4月に特例ポイントを増やしたことで、利用需要が増加したと推測される。

▼月別利用者数

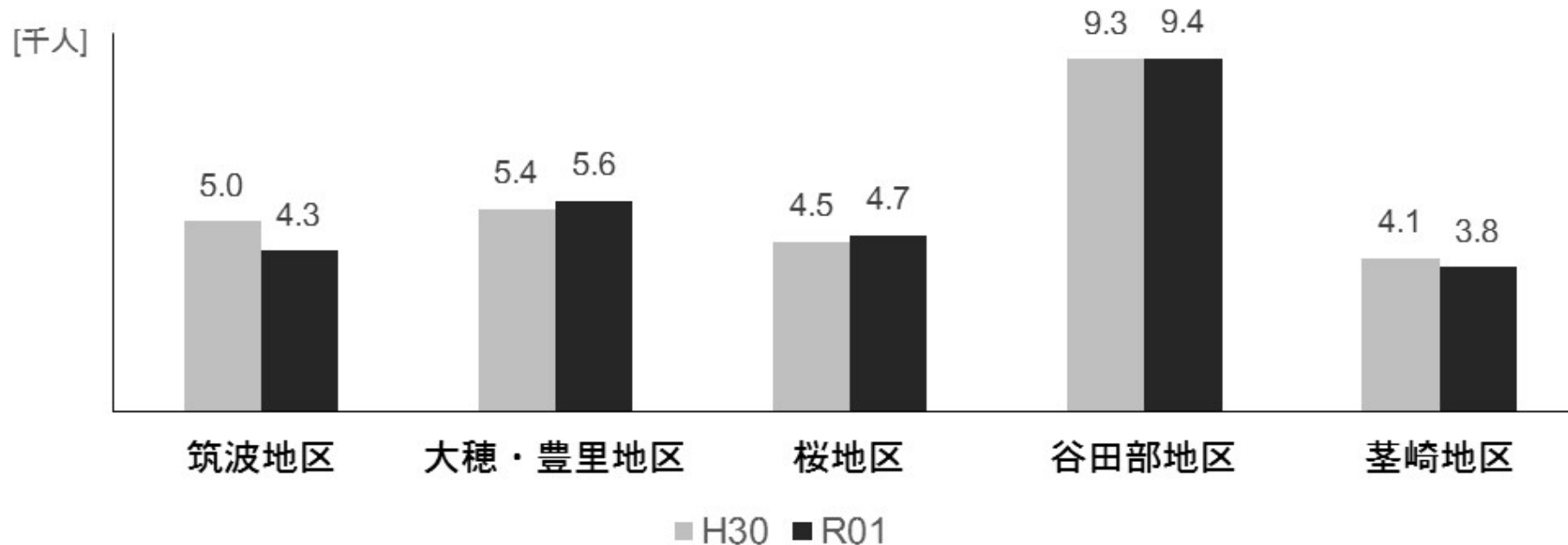


▼1日当たり利用者数



- 前年同期と比較して、筑波地区、荃崎地区で利用者数が減少している。実証実験バス（筑波地区支線型バス、荃崎地区路線バス）が運行開始したことで、利用転換したと推測される。

▼地区別利用者数（上半期）



(人)	筑波	大穂・豊里	桜	谷田部	荃崎
H30	5,049	5,366	4,503	9,327	4,063
R01	4,264	5,585	4,677	9,356	3,834
増減率	84.5%	104.1%	103.9%	100.3%	94.4%

地区別・時間帯別利用者数

- 筑波地区は、全時間帯で利用者数が減少している。
- 茎崎地区は、午後の利用者数が減少している。
- その他の地区では、全体的に利用者数が増加している。特に、利用が多い9時台と16時台で、さらに増加している。

▼地区別・時間帯別 利用者数

[人]

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	831	828	577	427	525	604	494	762	5,048
大穂・豊里	920	999	424	883	595	546	504	538	5,409
桜	653	712	562	465	516	393	559	573	4,433
谷田部	1,416	1,438	899	871	940	1,188	1,173	1,282	9,207
茎崎	584	602	463	390	466	574	447	486	4,012
全地区	4,404	4,579	2,925	3,036	3,042	3,305	3,177	3,641	28,109



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	756	678	497	378	491	465	420	579	4,264
大穂・豊里	965	981	443	912	589	511	523	661	5,585
桜	749	732	591	475	493	417	590	630	4,677
谷田部	1,429	1,485	909	934	951	1,226	1,111	1,311	9,356
茎崎	643	615	419	402	391	557	331	476	3,834
全地区	4,542	4,491	2,859	3,101	2,915	3,176	2,975	3,657	27,716

前年同期比 増加

前年同期比 減少

1 台当たり利用者数

- 1 台当たりの利用者数は、9～13時台が多く、14～16時台は少ない。
- 大穂・豊里、桜、谷田部地区の午前中において、1 台当たり10人程度、利用者が増加している。

▼地区別・時間帯別 1 台当たり利用者数

[人／台]

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	208	207	192	214	175	151	124	191	183
大穂・豊里	230	250	212	294	198	137	126	135	198
桜	218	237	187	233	258	197	186	191	213
谷田部	236	240	225	218	235	198	196	214	220
茎崎	195	201	232	195	233	191	149	162	195
全地区	220	229	209	234	217	174	159	182	203



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	189	170	166	189	164	116	105	145	155
大穂・豊里	241	245	222	304	196	128	131	165	204
桜	250	244	197	238	247	209	197	210	224
谷田部	238	248	227	234	238	204	185	219	224
茎崎	214	205	210	201	196	186	110	159	185
全地区	227	225	204	239	208	167	149	183	200

(参考) 車両台数

筑波 : 4 台
 大穂・豊里 : 4 台
 桜 : 3 台
 谷田部 : 6 台
 茎崎 : 3 台

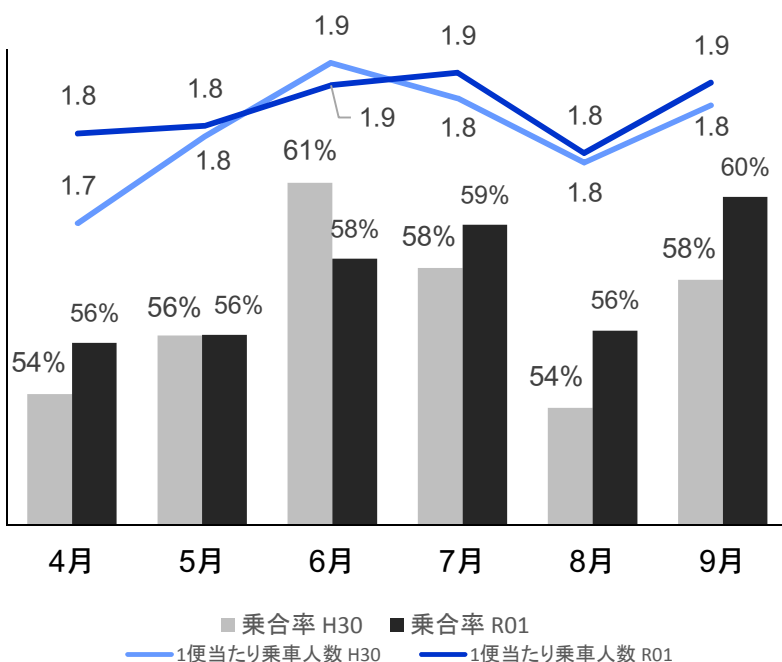
前年同期比 増加

前年同期比 減少

乗合率

- 前年同期と比較して、乗合率が高くなっている（6月除く）。
- 大穂・豊里、桜、谷田部地区では、利用者数の増加に伴い、乗合率が増加している。
- 筑波地区は、利用者数の減少に伴い、乗合率も減少している。

▼月別乗合率、1便当たり乗車数



▼地区別・時間帯別 乗合率

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	63%	63%	55%	61%	45%	42%	32%	56%	53%
大穂・豊里	66%	56%	57%	74%	50%	34%	33%	36%	51%
桜	65%	70%	50%	64%	75%	55%	51%	55%	60%
谷田部	69%	70%	63%	64%	70%	54%	53%	60%	62%
荃崎	53%	52%	67%	50%	61%	53%	46%	47%	53%
全地区	64%	63%	58%	64%	60%	48%	45%	52%	57%



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	55%	50%	40%	52%	38%	33%	25%	46%	43%
大穂・豊里	69%	62%	67%	73%	56%	34%	36%	44%	55%
桜	72%	73%	59%	67%	69%	59%	57%	63%	65%
谷田部	68%	74%	67%	70%	74%	56%	50%	62%	65%
荃崎	68%	62%	60%	58%	58%	57%	37%	49%	57%
全地区	66%	65%	59%	66%	60%	49%	43%	54%	58%

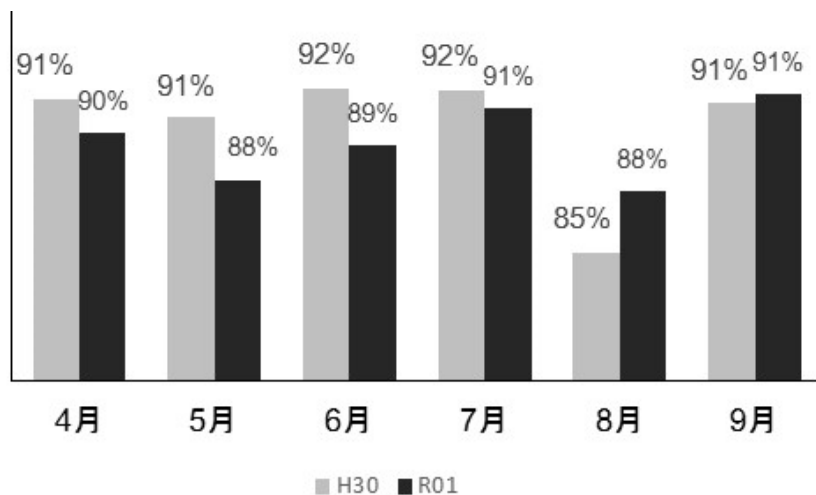
前年同期比 増加

前年同期比 減少

車両稼働率

- 前年同期と比較して、車両稼働率は減少傾向である。配車方法を変更し、当日予約に対応できるようにした影響と推測される。
- 筑波、荃崎地区は、利用者数の減少に伴い、車両稼働率も減少している。

▼月別 稼働率



▼地区別・時間帯別 車両稼働率

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	92%	90%	91%	94%	88%	83%	69%	90%	86%
大穂・豊里	94%	93%	93%	95%	92%	77%	68%	76%	85%
桜	91%	96%	88%	96%	95%	91%	87%	90%	91%
谷田部	98%	98%	98%	96%	99%	95%	92%	95%	96%
荃崎	93%	94%	96%	93%	93%	88%	74%	81%	88%
全地区	94%	95%	93%	95%	94%	87%	79%	87%	90%



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	92%	87%	90%	93%	92%	69%	68%	77%	82%
大穂・豊里	95%	93%	96%	96%	93%	76%	71%	90%	88%
桜	97%	96%	90%	96%	98%	96%	90%	94%	94%
谷田部	97%	98%	97%	98%	97%	96%	89%	95%	96%
荃崎	90%	88%	95%	93%	88%	85%	61%	78%	84%
全地区	95%	93%	94%	96%	94%	85%	77%	88%	89%

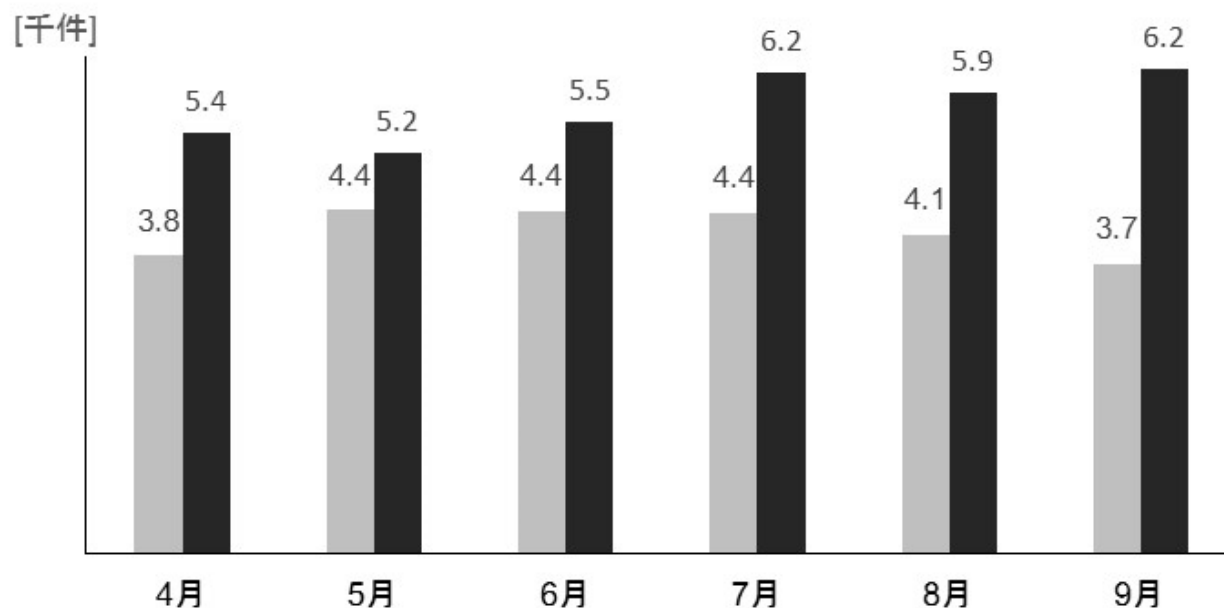
前年同期比 増加

前年同期比 減少

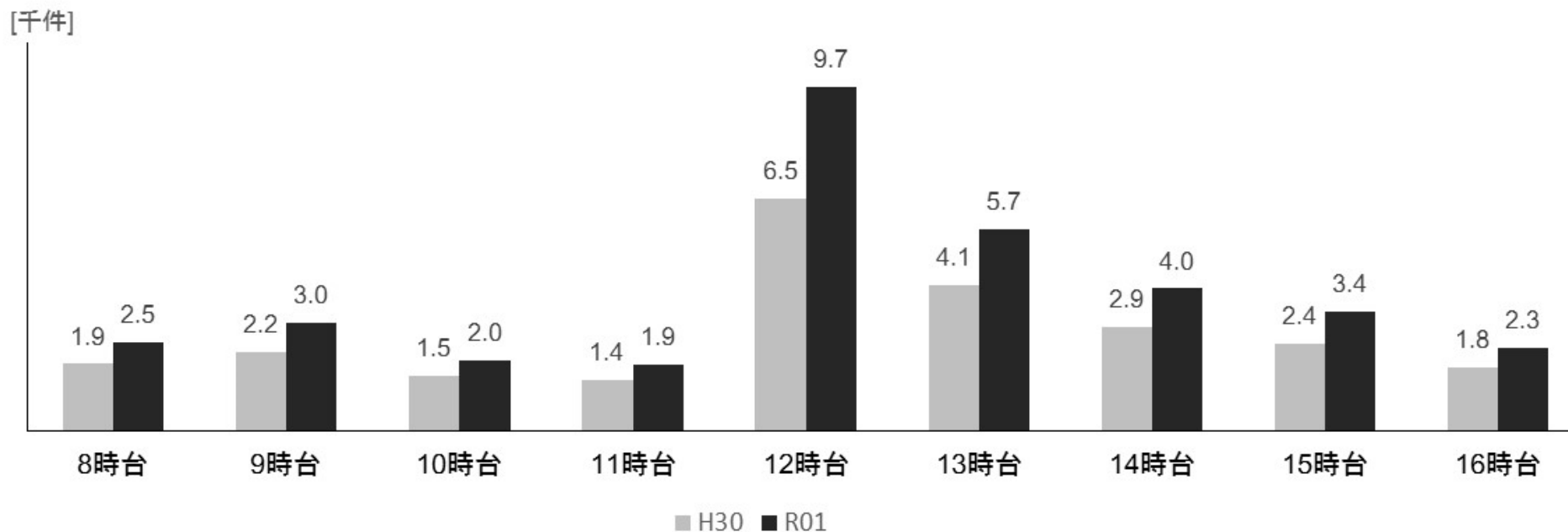
予約センターへの電話着信数

- 前年同期と比較して、電話着信数が増加している。
- 繁忙時間帯の12時台、13時台で増加している。電話回線数を平成30年10月に2台(6台→8台)増設した効果もあると推測される。

▼月別応答数



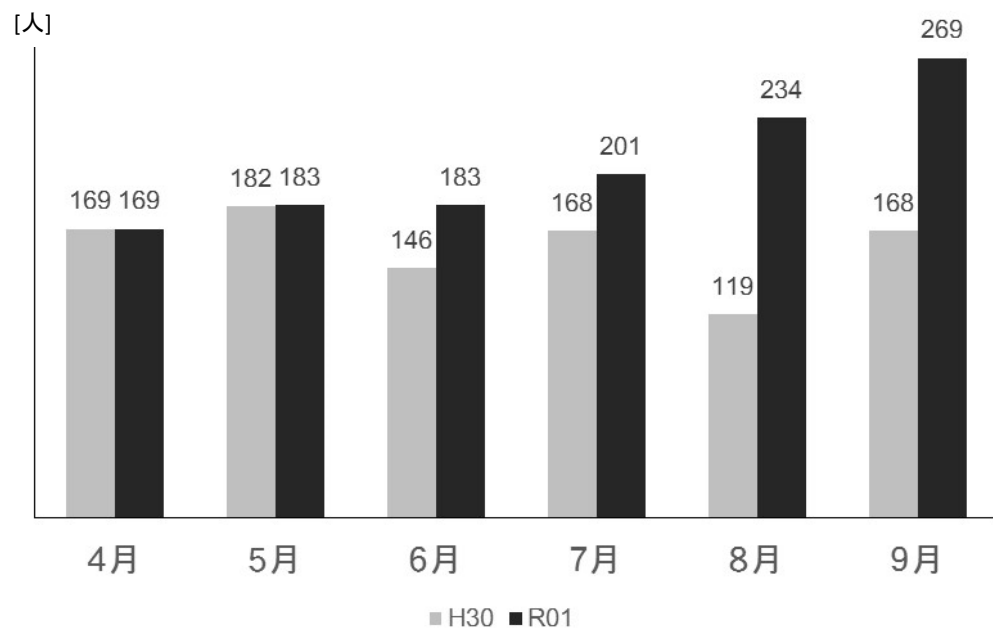
▼時間別応答数



予約お断り

- 前年同期と比較して、お断り数が増加している。
- 特に大穂・豊里、桜地区でお断り数が増加している。車両稼働率、乗合率を上げているものの、利用希望者数の増加に対応しきれていない状況である。

▼月別お断り数



▼地区別・時間帯別 お断り数

[人]

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	15	29	21	21	17	6	9	17	135
大穂・豊里	24	12	10	9	17	4	2	5	83
桜	9	19	9	21	30	30	22	19	159
谷田部	57	79	84	68	53	35	24	78	478
荃崎	4	14	25	13	17	13	8	3	97
全地区	109	153	149	132	134	88	65	122	952



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	21	15	26	37	14	9	13	7	142
大穂・豊里	31	25	20	24	24	12	10	12	158
桜	67	86	41	52	63	28	19	49	405
谷田部	56	63	60	81	77	37	30	56	460
荃崎	6	13	12	17	13	6	2	5	74
全地区	181	202	159	211	191	92	74	129	1239

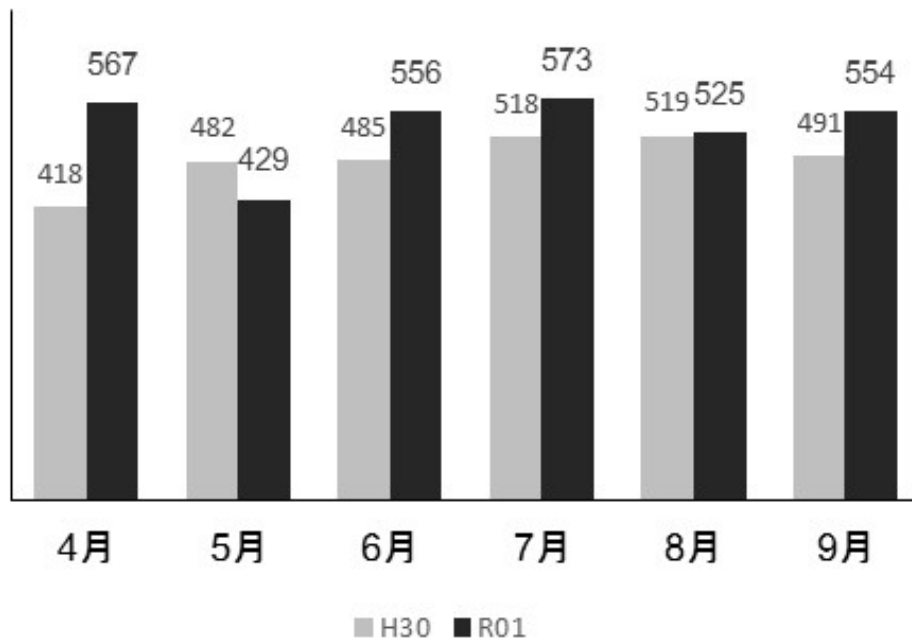
 前年同期比 減少
 前年同期比 増加

予約キャンセル

- 前年同期と比較して、キャンセル数が増加している。
- 特に9～10時台のキャンセル数が増加している。

▼月別キャンセル数

[人]



▼地区別・時間帯別 キャンセル数

[人]

H30上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	37	49	44	37	60	53	63	61	404
大穂・豊里	38	55	35	51	54	53	47	64	397
桜	50	67	60	64	64	72	104	103	584
谷田部	126	151	94	134	115	167	177	279	1243
荃崎	30	33	41	31	50	37	33	30	285
全地区	281	355	274	317	343	382	424	537	2913



R01上半期	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	33	56	61	29	46	49	66	65	405
大穂・豊里	54	79	26	102	64	59	65	80	529
桜	49	88	79	64	83	71	58	94	586
谷田部	153	174	82	120	131	172	203	259	1294
荃崎	51	61	39	53	41	52	47	46	390
全地区	340	458	287	368	365	403	439	544	3204

 前年同期比 減少
 前年同期比 増加

令和元年度 上半期
【筑波地区】支線型バス利用実績
(4月1日～9月30日)



支線型バス利用者数

- ・ 運行開始後 6 ヶ月間の利用者数は2,842名で、1 日当たり約15名である。
- ・ 3 コース（筑波ふれあいの里入口～筑波交流センター）の1 便当たり利用者数は約0.9名で、それ以外のコースでは約0.2名である。
- ・ 3 コースは土日祝日より平日の利用が多いことから、生活の足として利用されていると推測される。

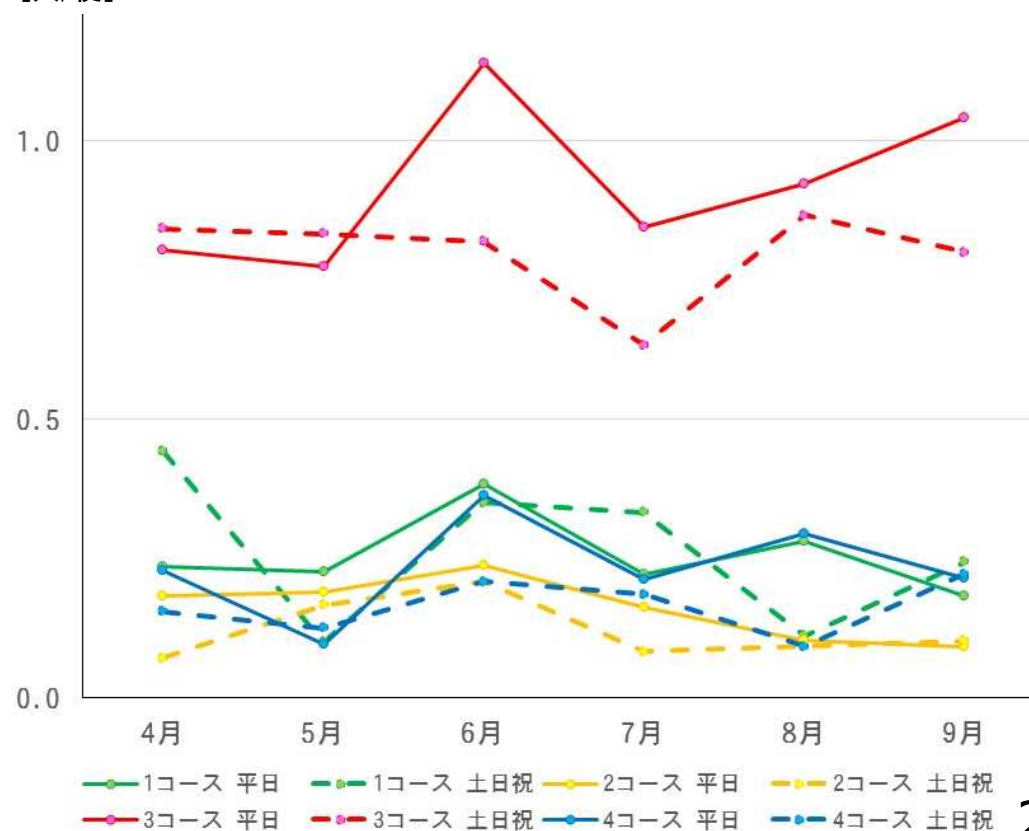
▼月別利用者数

[人]



▼1 便当たり利用者数

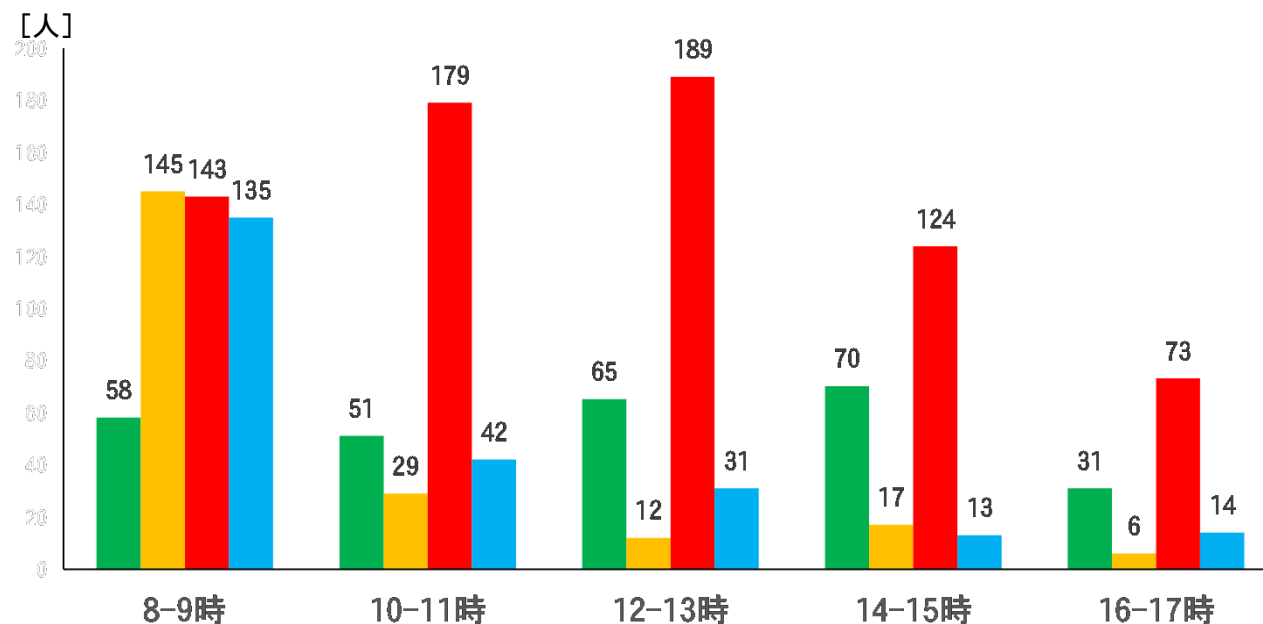
[人/便]



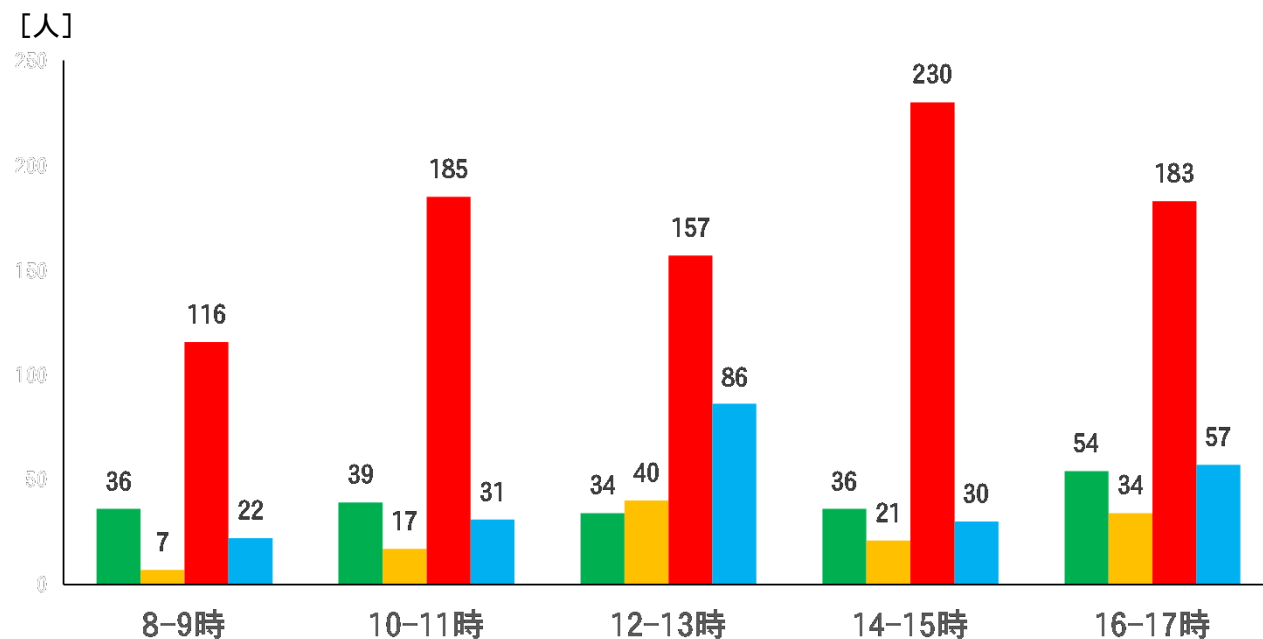
時間帯別利用者数

- 1 コースは、上り便の利用が多い。行きは支線型バスを利用し、帰りはその他の交通手段を利用していると考えられる。
- 2 コースは、朝の上り便の利用が多く、その他の便はほとんど利用されていない。
- 3 コースは、全時間帯で利用されている。
- 4 コースは朝の上り便の利用が多い。午後の下り便の利用も多少みられる。

▶上り



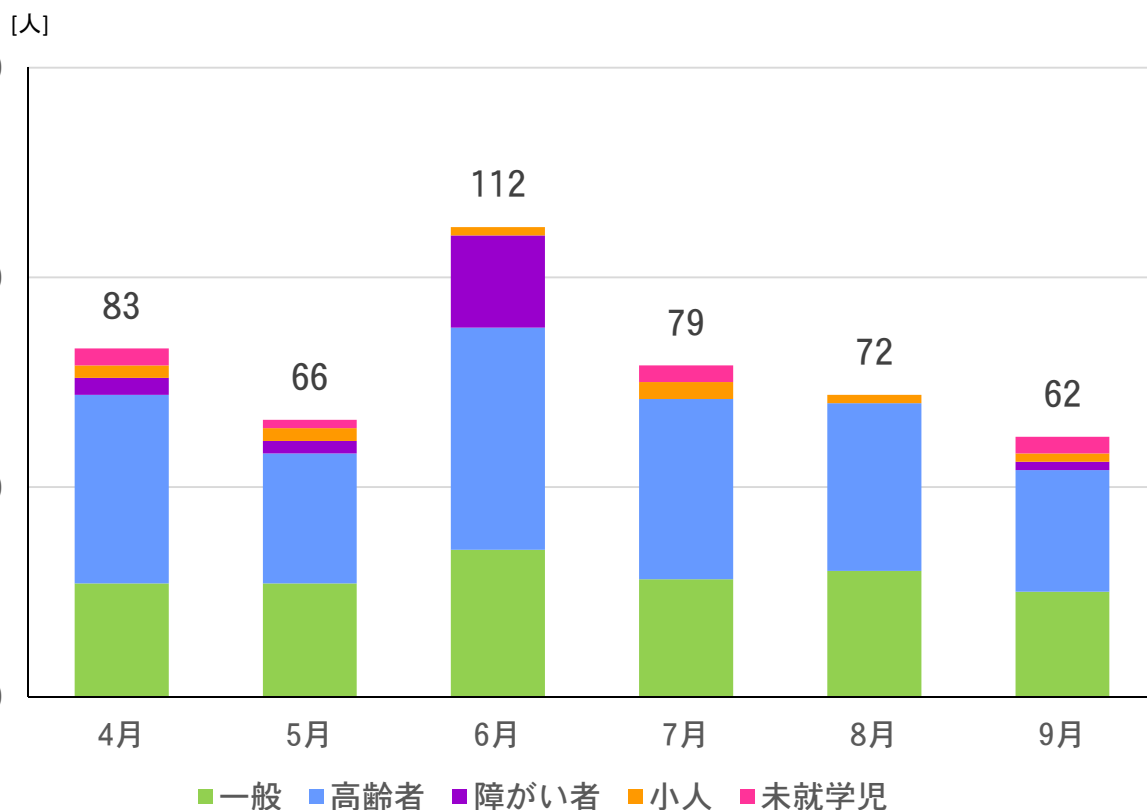
▶下り



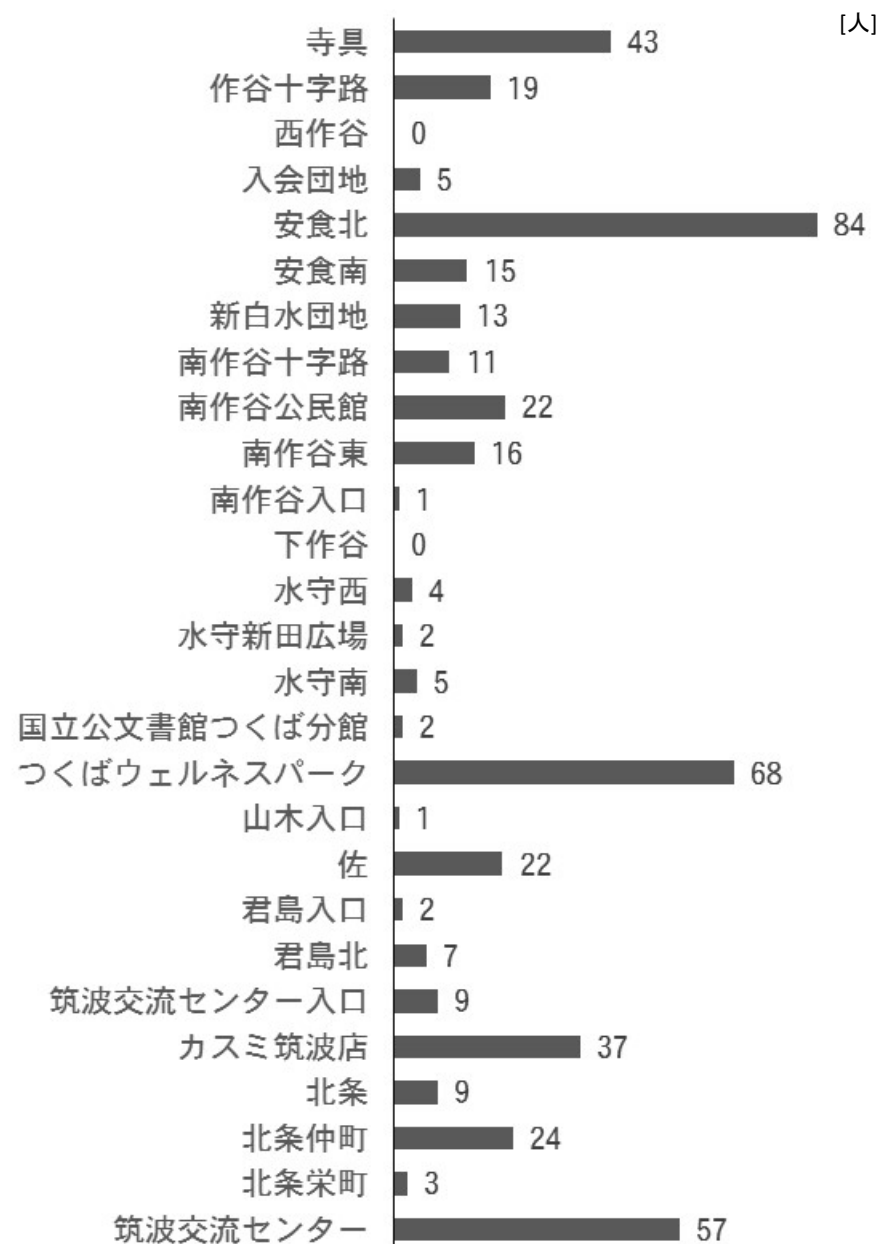
1 コース利用状況

- 1日当たり約2.6人が利用している。
- つくばウェルネスパーク、筑波交流センターの公共施設への利用が多い。
- 寺具、安食北の利用が多い。

▼月別利用者数



▼停留所別利用者数

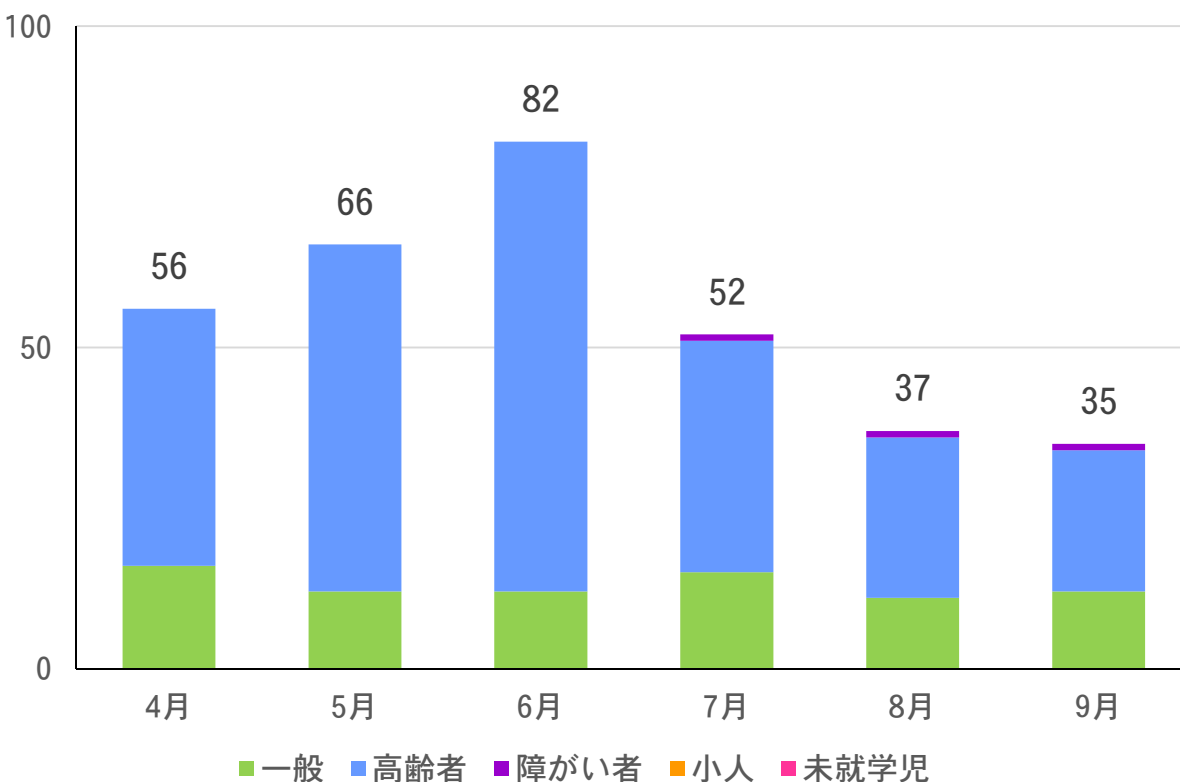


2 コース利用状況

- 1日当たり約1.8人が利用している。
- 北条仲町、カスミ筑波店の商業施設の利用が多い。
- 下田中、寺具、洞下団地の利用が多い。
- 7月以降、利用が落ち込んでいる。

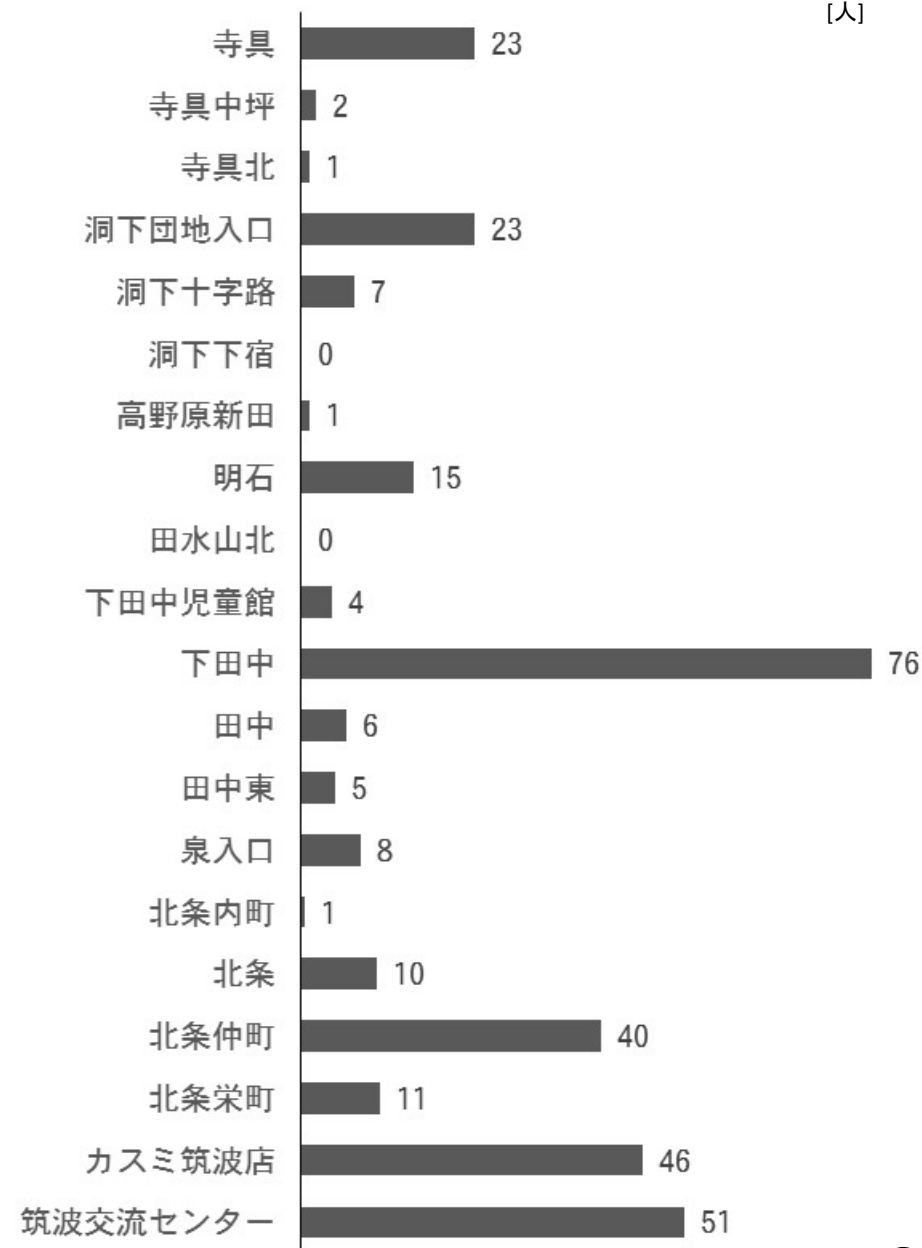
▼月別利用者数

[人]



▼停留所別利用者数

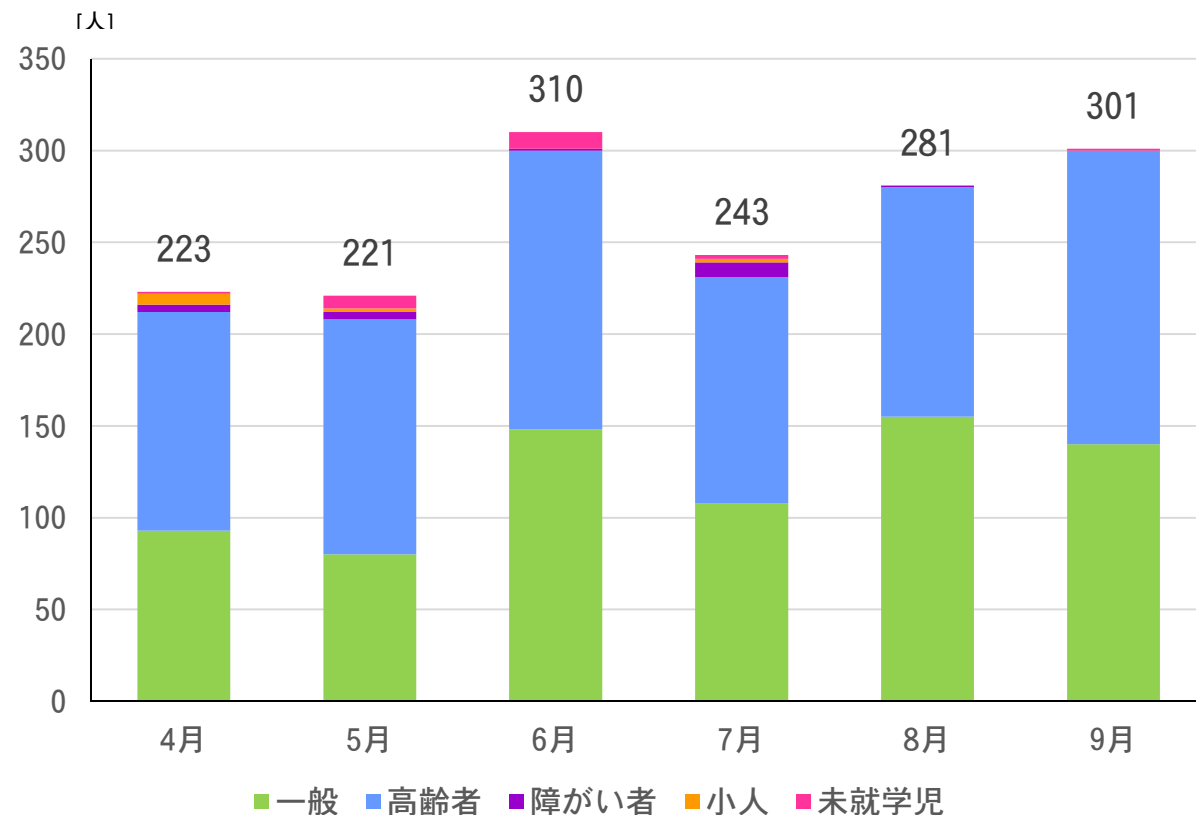
[人]



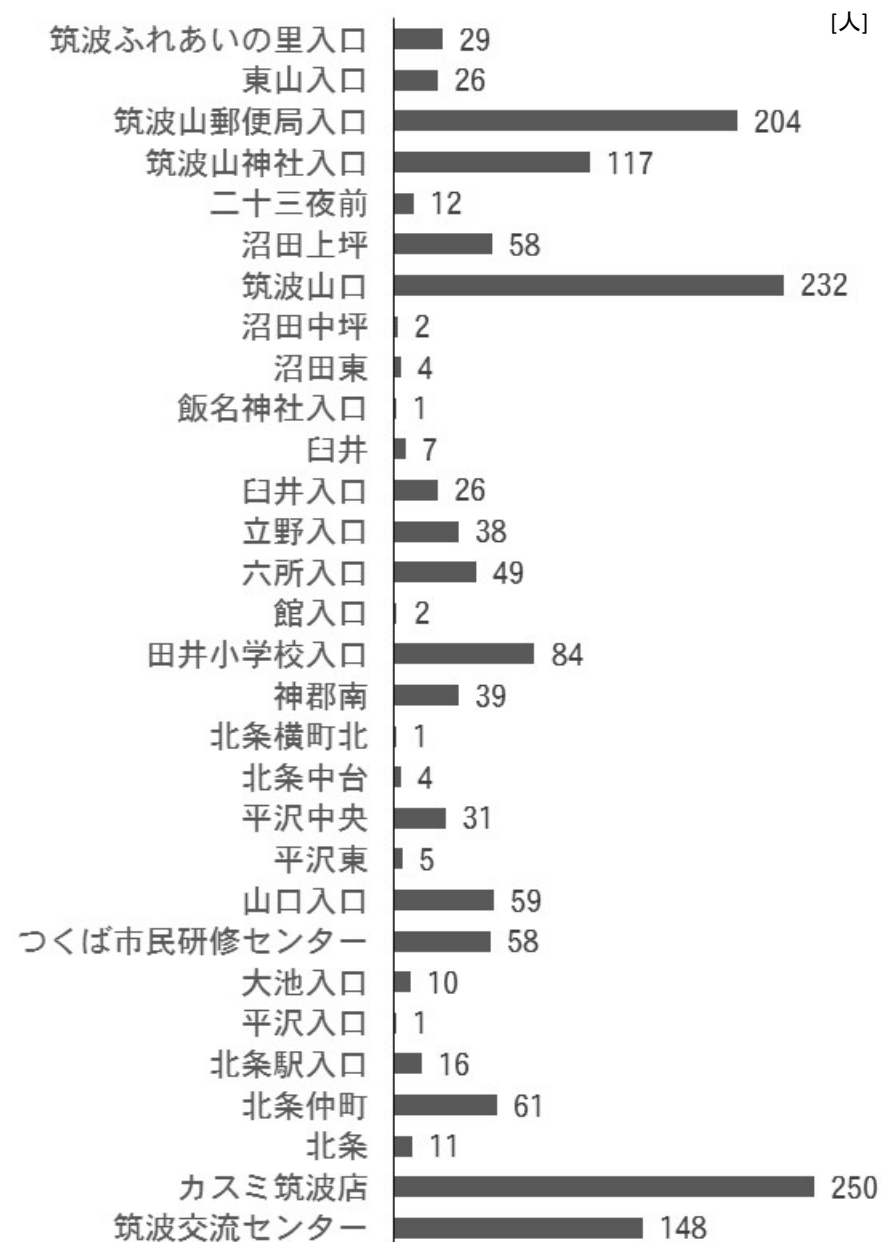
3 コース利用状況

- 1 日当たり約8.6人が利用している。
- 交通結節点である筑波山口、筑波交流センター、商業施設であるカスミ筑波店の利用が多い。また、つくば市民研修センターの利用も多少見られる。
- 観光客と思われる筑波山神社入口-筑波山口の利用者は140人で、3コースの約9%である。そのため、利用者の多くは、沿線住民であると推測される。

▼月別利用者数



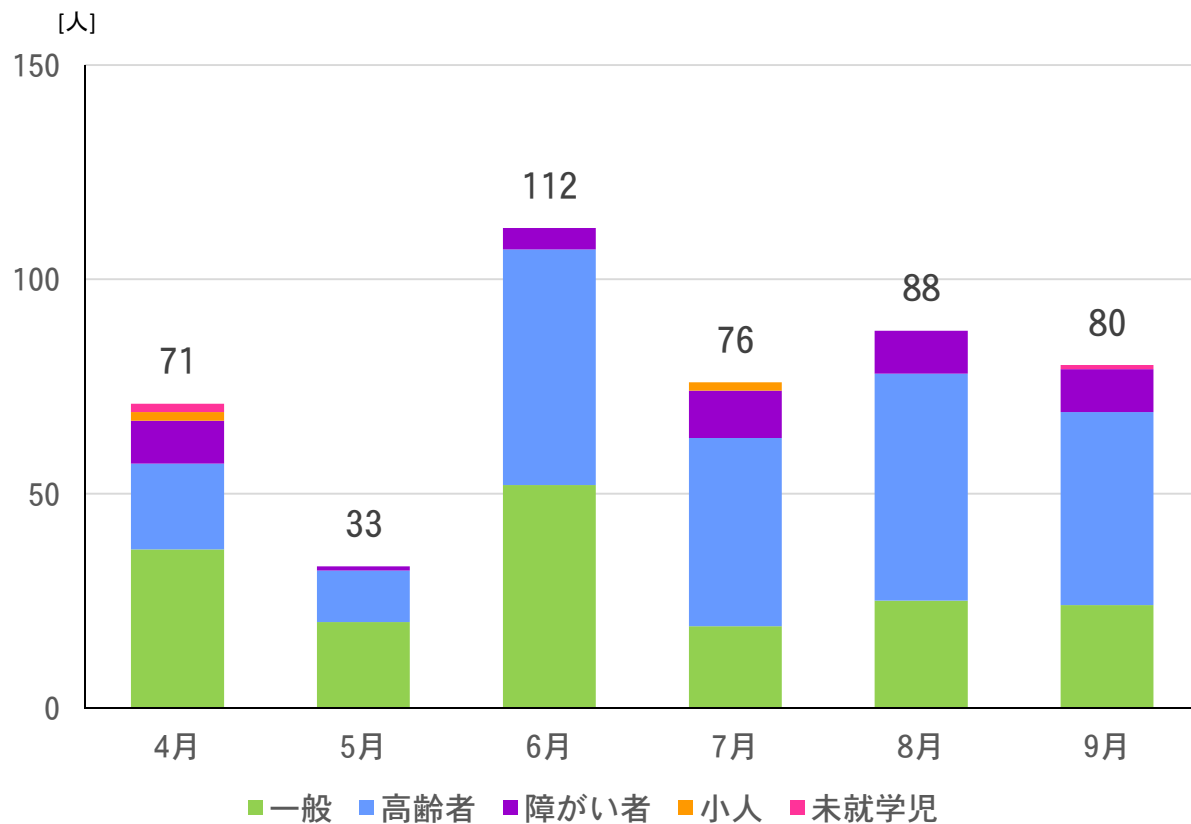
▼停留所別利用者数



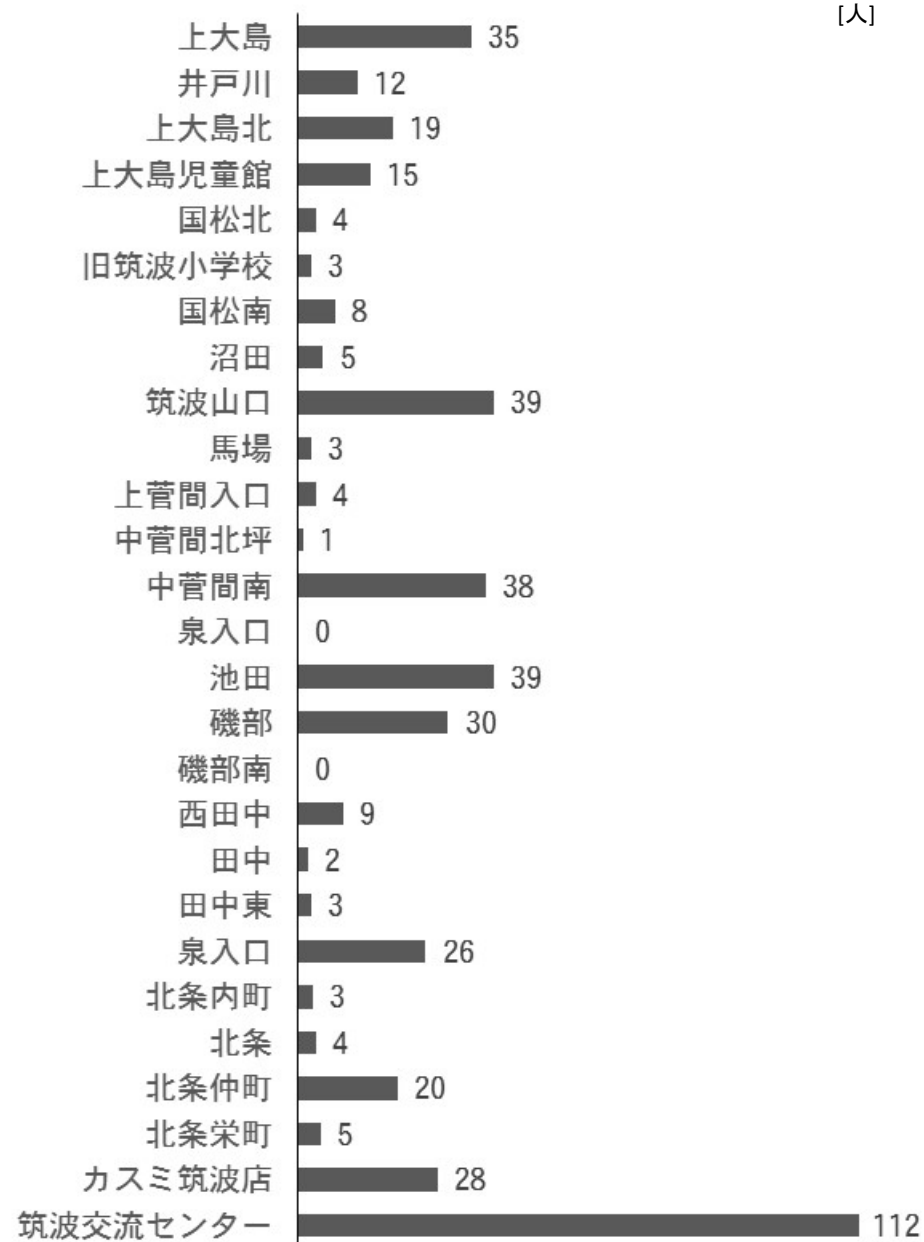
4 コース利用状況

- 1日当たり約2.5人が利用している。
- 筑波山口、筑波交流センターの交通結節点の利用が多い。
- 上大島、中菅間南、池田、磯部の利用が多い。
- 学生が塾通いのために利用しているケースがあった。

▼月別利用者数



▼停留所別利用者数



- 支線型バス利用者2,842名に対し、筑波地区のつくタク利用者は、前年同期と比較して784名の減少だった。
- つくタク利用が減少した利用者のうち約700名は、支線型バス沿線のつくタク乗降場所利用者や、沿線に自宅がある利用者であった。このことから、つくタクから支線型バスに利用転換したと推測される。
- 北条地区のクリニックや市民研修センターでつくタク利用が減少している。このことから、利用者が見込まれる目的施設を通るよう、支線型バスのルート工夫することで、利用促進が図れると考えられる。

▼支線型バス沿線のつくタク利用者数

(平成30年度上半期と比較して、利用者数が10名以上減少した乗降場所のみ)

つくタク 乗降場所	最寄りの 支線型バス停留所	つくタク 利用実績		
		H30	R01	差
A85-1 北条（広瀬医院前）	全コース	402	296	-106
A50 中央病院	2,4コース	163	59	-104
A127 広瀬クリニック	3コース	91	36	-55
A53 筑波高校	全コース	121	85	-36
A38 市民研修センター	3コース	73	40	-33
A56 筑波山郵便局	3コース	73	50	-23
A111 ふれあいの里	3コース	48	27	-21
A101-2 水守（つくば総合福祉センター）	1コース	25	4	-21
A119 吉原接骨院	4コース	20	0	-20
A79 馬場	3コース	26	15	-11

自宅場所	最寄りの 支線型バス停留所	つくタク 利用実績		
		H30	R01	差
筑波	3コース	326	208	-118
明石	2コース	118	20	-98
沼田	3コース	80	35	-45
中菅間	4コース	70	36	-34
北条	全コース	88	59	-29
上大島	4コース	76	48	-28
上菅間	4コース	23	5	-18
臼井	4コース	83	71	-12
君島	1コース	14	3	-11

つくたくからの利用転換

(参考)

▼平成30年度上半期と比較して、利用回数が21回以上減少した利用者

利用者居住地区	最寄りのバス停留所		つくたく 利用実績			備考
	路線名	停留所名	H30	R01	差	
明石	2コース	明石	218	41	-177	
泉	全コース	筑波交流センター	89	13	-76	
作谷	1コース	下作谷	149	75	-74	下作谷の利用者数 = 0 なので、支線型バスへの転換以外の理由により減少したと考えられる。
大貫	北部シャトル	大貫	54	6	-48	北部シャトル 新設バス停
筑波	3コース	筑波山郵便局入口	49	4	-45	
北条	3コース	つくば市民研修センター	43	2	-41	
	小田シャトル	大池・平沢官衛入口				
北条	全コース	北条栄町	62	22	-40	
北太田	小田シャトル	北太田	53	13	-40	小田シャトル 新設バス停
上大島	4コース	上大島、上大島北	40	3	-37	
小田	小田シャトル	小田中部	52	16	-36	小田シャトル 大穂窓口センター経由便の新設
筑波	3コース	筑波山郵便局入口	36	0	-36	
筑波	3コース	筑波山郵便局入口	71	37	-34	
沼田	3、4コース	筑波山口	34	0	-34	
水守	1コース	水守新田広場	34	0	-34	水守新田広場の利用者数 = 2 なので、支線型バスへの転換以外の理由により減少したと考えられる。
筑波	3コース	二十三夜前	50	20	-30	
田中	2コース	下田中	46	17	-29	
筑波	3コース	筑波山神社入口	41	12	-29	
小田	小田シャトル	小田中部	32	5	-27	小田シャトル 大穂窓口センター経由便の新設
泉	2、4コース	泉入口	31	4	-27	
田中	4コース	西田中	61	36	-25	
上大島	4コース	上大島	54	29	-25	
中菅間	4コース	中菅間南	30	6	-24	
沼田	3、4コース	筑波山口	24	0	-24	
筑波	3、4コース	筑波山口	66	43	-23	
中菅間	4コース	中菅間南	30	9	-21	
小和田	小田シャトル	北条新田	25	4	-21	小田シャトル 大穂窓口センター経由便の新設

令和元年度上半期 路線バス実証実験利用実績

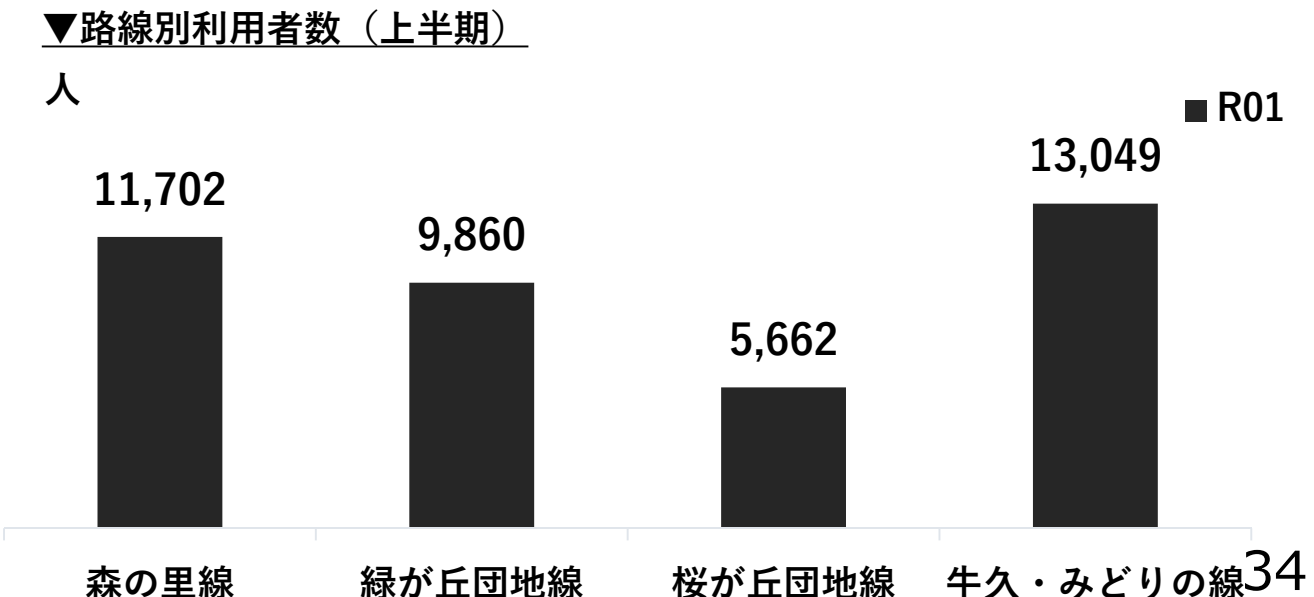
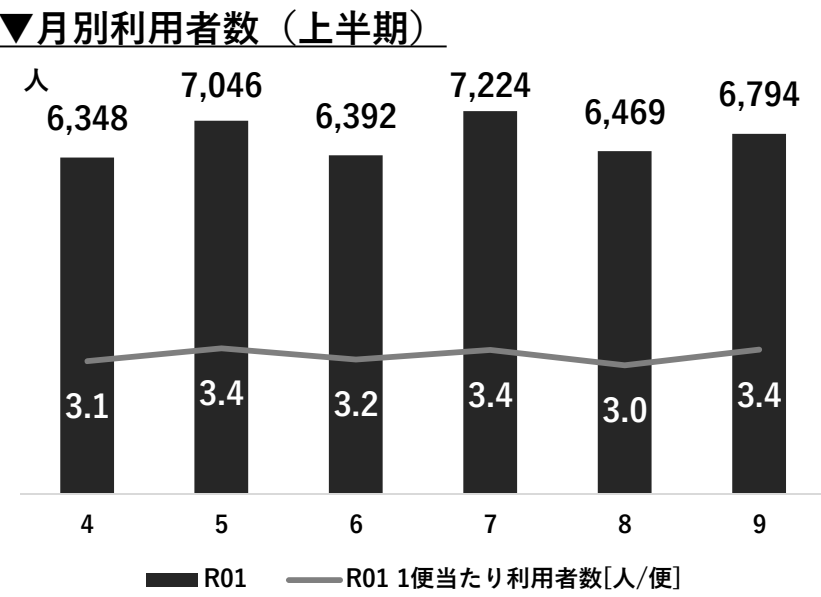
(4月1日～9月30日)



路線バス運賃補填実証実験事業 利用者数

- 路線バス運賃補填実証実験事業 4 路線の利用者数は40,273人で、1 日当たり平均220人の利用があった。
- 1日当たり利用者数は、当初の事業計画（148人）を上回っている。

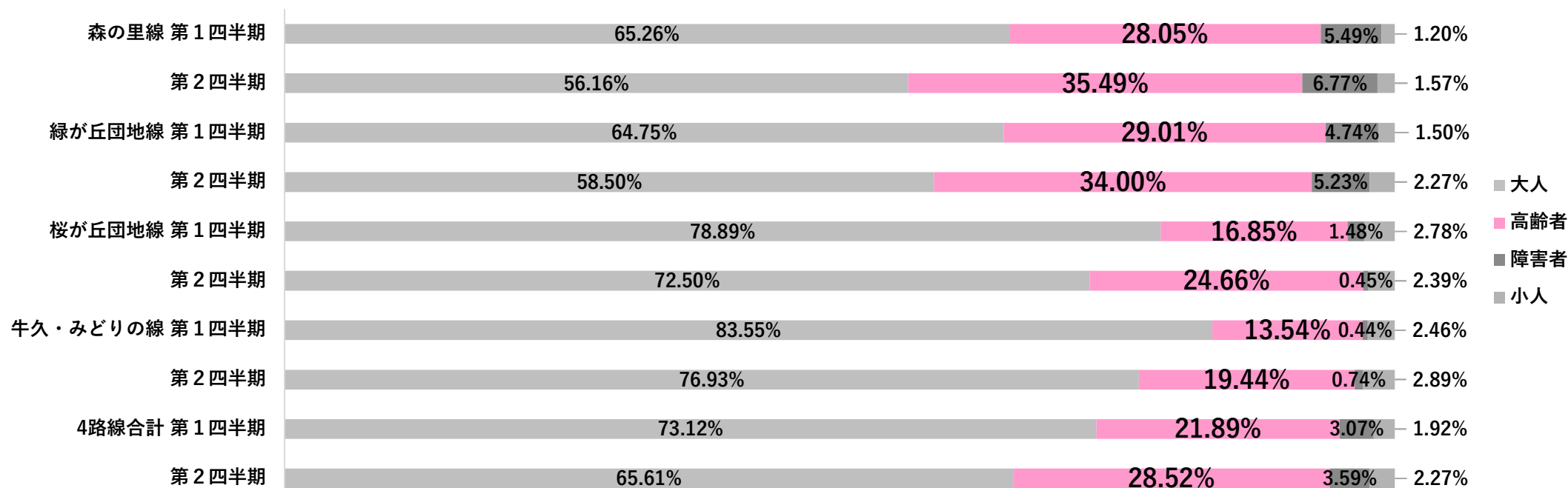
▼利用者数一覧（上半期）	森の里線	緑が丘団地線	桜が丘団地線	牛久・みどりの線	4路線合計	1日当たり
R01 4月	1,893	1,539	990	1,926	6,348	212
5月	1,888	1,616	891	2,651	7,046	227
6月	1,869	1,637	890	1,996	6,392	213
7月	2,204	1,833	1,089	2,098	7,224	233
8月	1,806	1,582	859	2,222	6,469	209
9月	2,042	1,653	943	2,156	6,794	226
上半期利用者数[人]	11,702	9,860	5,662	13,049	40,273	220
1便当たり利用者数[人/便]	3.0	3.8	2.7	3.4	3.3	



利用者内訳

- 本事業は交通系ICカード利用者のみが運賃割引の対象になる。
- 令和元年度上半期利用者数は40,273人で、前年同期の同条件での利用者数は約25,000人あることから、本事業開始後、約1.6倍に交通系ICカード利用者が増加したことになる。
- 路線別利用者内訳は、全路線において第1四半期よりも第2四半期のほうが高齢者（高齢者運賃割引証利用者）の利用割合が高くなっている。とりわけ森の里線、緑が丘団地線の利用割合が高い結果となった。高齢者に本事業が認知されており、交通系ICカードの利用方法がスムーズに受け入れられたものと推測される。

▼運賃補填路線別利用者内訳（上半期）



森の里線、緑が丘団地線 利用状況

- 森の里線、緑が丘団地線は森の里までルートが同一であることから、併せて分析を行う。
- 停留所別利用者数は、森の里地区の各停留所と牛久駅西口間の移動が顕著にみられた。
- つくバスとの結節点でもある荃崎窓口センターについて、1日当たり平均4.5人の利用がみられた。
- 時間帯別利用者数は、上り便（牛久方面）の利用者ピークが下り便（つくば方面）の利用者ピークより早い時間に来ていることから、地域住民の日中の牛久駅への移動手段として定着しているものと推測される。

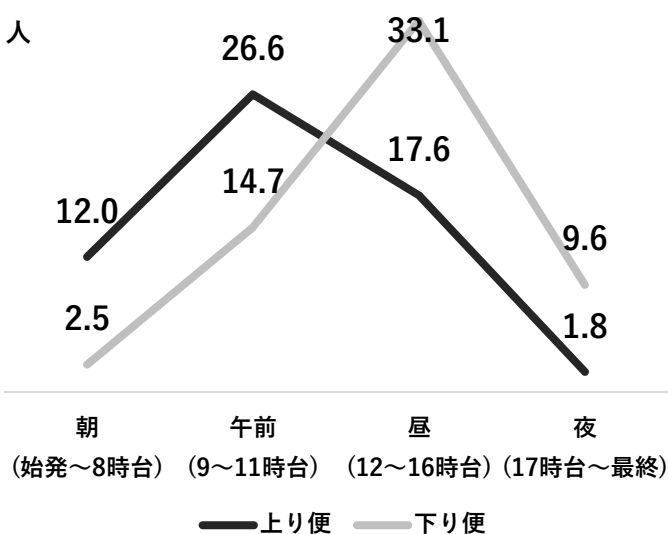
▼停留所別利用者数（1日当たり）



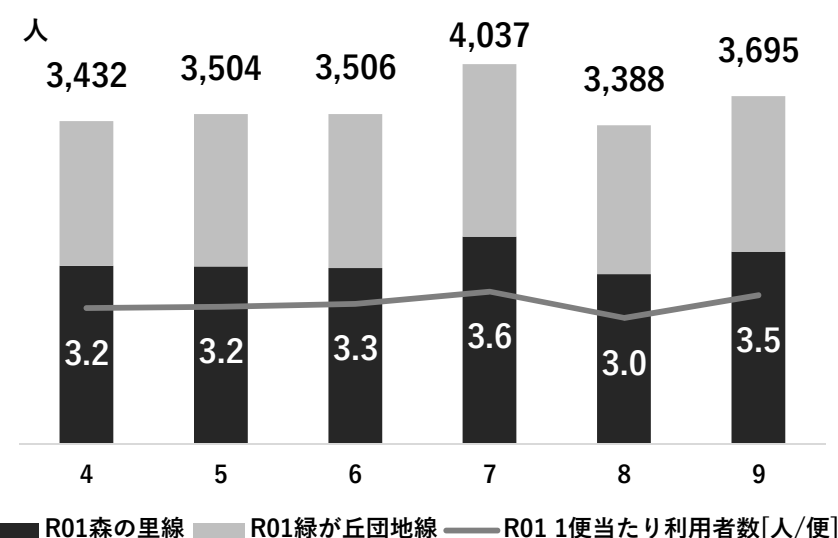
▼日別・便別利用者数

項目	日	便
R01	117.8	3.3

▼時間帯別利用者数



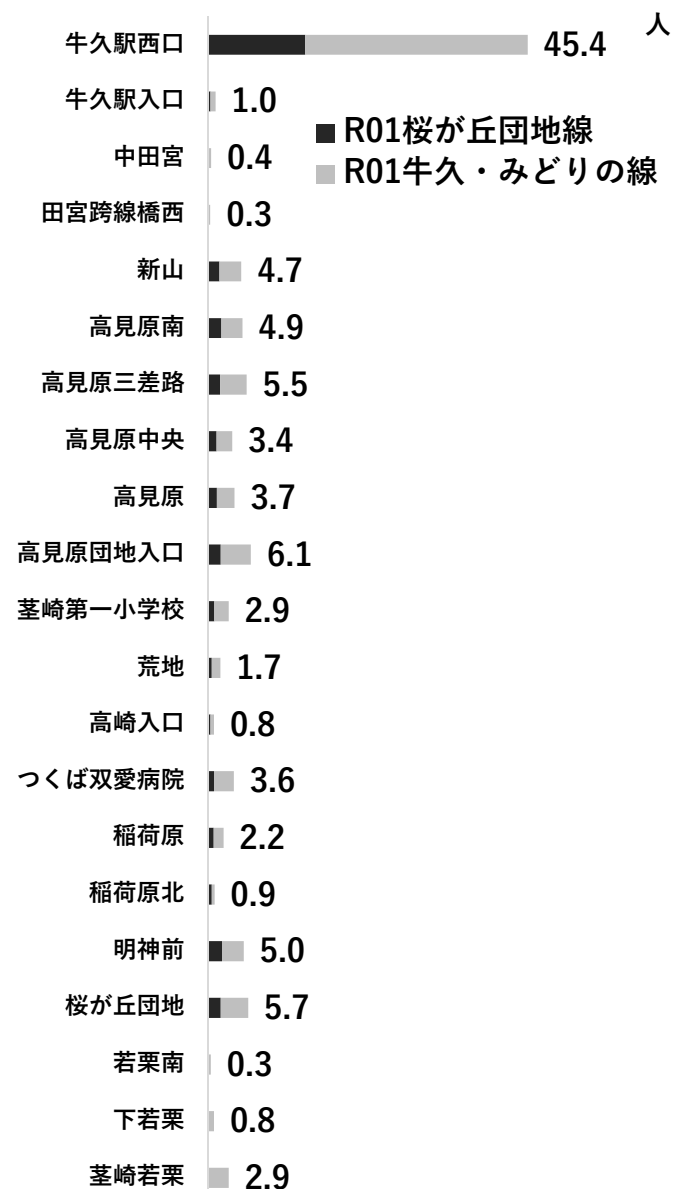
▼月別利用者数



桜が丘団地線、牛久・みどりの線 利用状況

- 桜が丘団地線、牛久・みどりの線は桜が丘団地までルートが同一であることから、併せて分析を行う。
- 停留所別利用者は、桜が丘団地、明神前及び高見原地区の各停留所と牛久駅西口間の移動が顕著にみられた。
- つくば双愛病院や周辺に商業施設がある新山へも、利用者の一定の移動がみられた。
- 時間帯別利用者は、1時間毎の利用者数を確認すると、上り便（牛久方面）の利用者ピークが下り便（つくば方面）の利用者ピークより早い時間に来ていることから、地域住民の日中の牛久駅への移動手段として定着しているものと推測される。

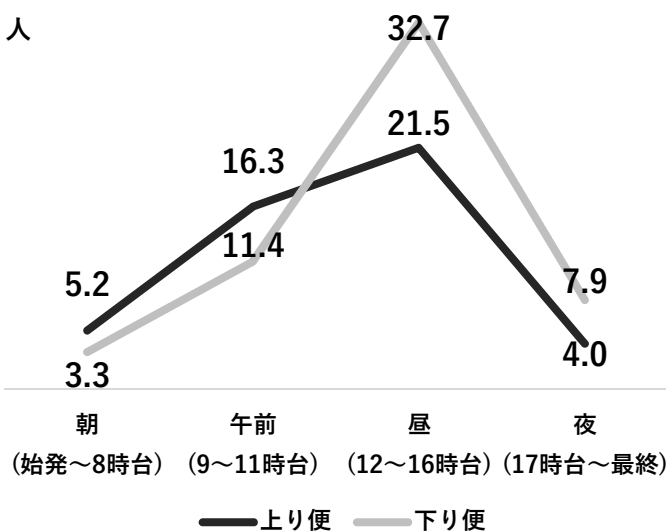
▼停留所別利用者数（1日当たり）



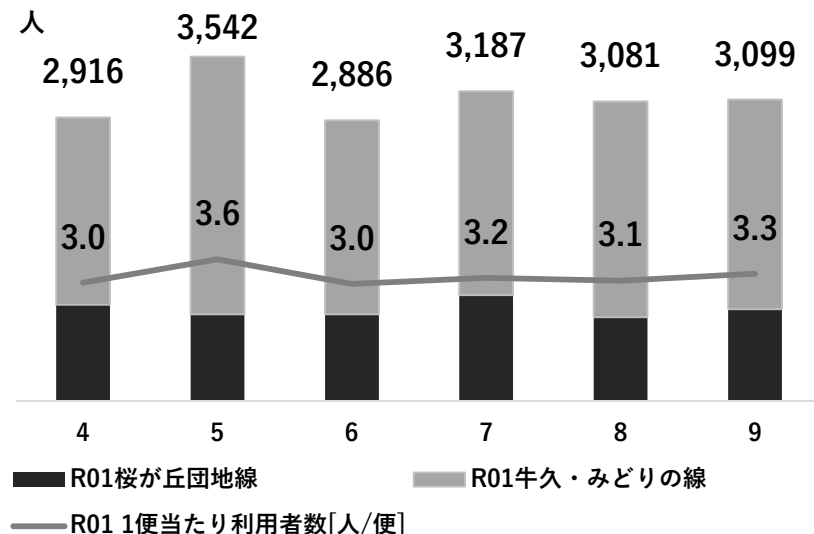
▼日別・便別利用者数

項目	日	便
R01	102.2	3.2

▼時間帯別利用者数



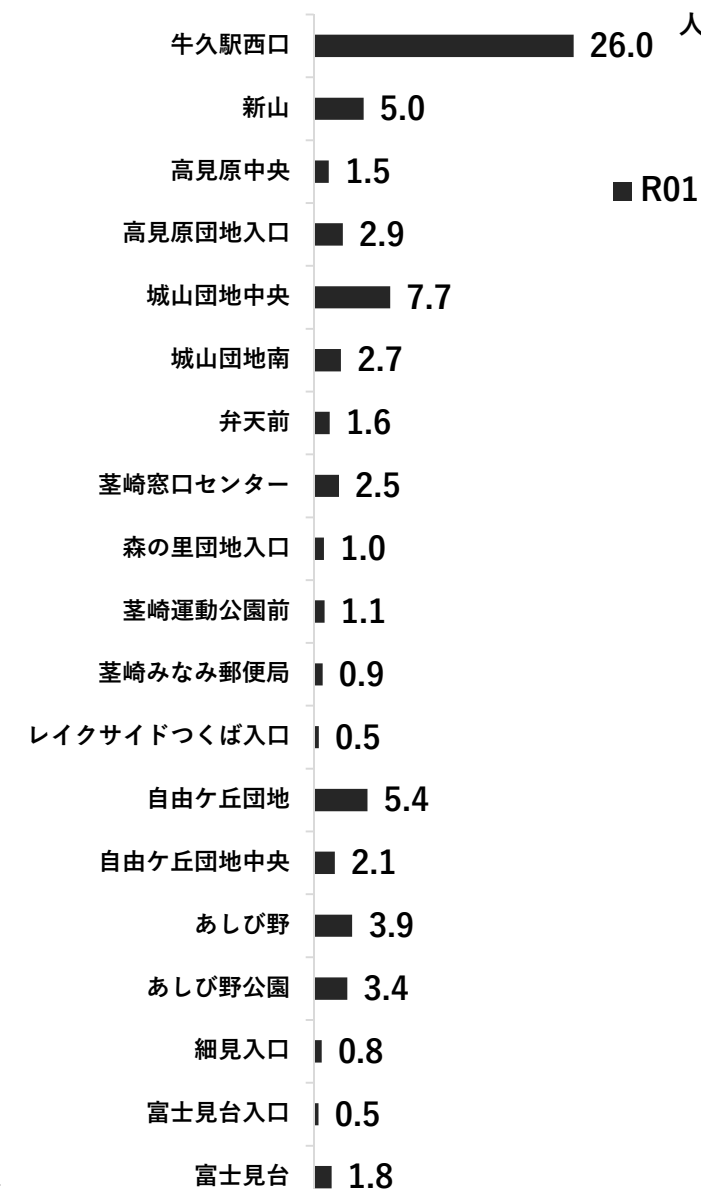
▼月別利用者数



路線バス運行実証実験事業 利用状況

- 路線バス運行実証実験事業の利用者数は13,084人で、1日当たり平均71.5人（1便当たり平均4.5人）の利用があった。
- 1便当たり利用者数は、当初の事業計画（2.8人）を上回っている。
- 停留所別利用者数は、富士見台～高見原地区までの各団地の停留所と牛久駅西口間の移動が顕著にみられた。また、つくバスとの結節点でもある荃崎窓口センター、周辺に商業施設がある新山についても一定の利用が見られた。
- 通勤・通学時間帯を外した運行時刻になっているが、利用者が多いことから、地域住民の日中の生活路線として定着しているものと推測される。

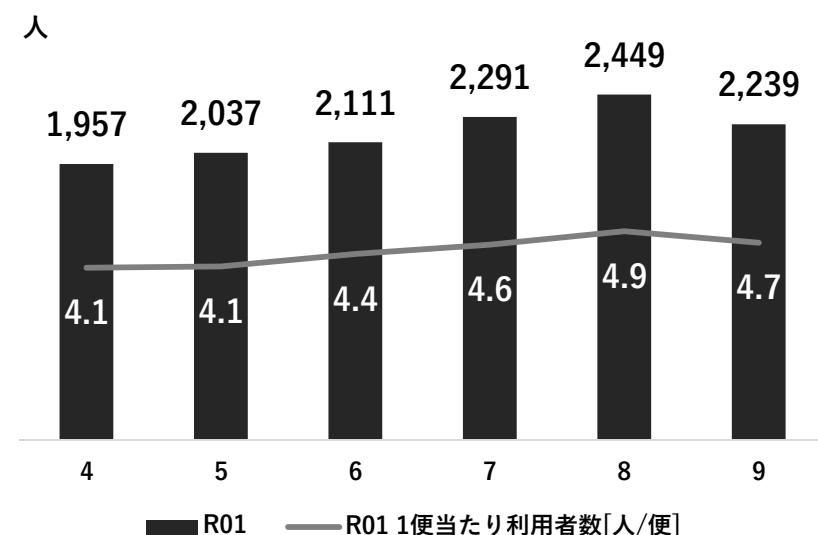
▼停留所別利用者数（1日当たり）



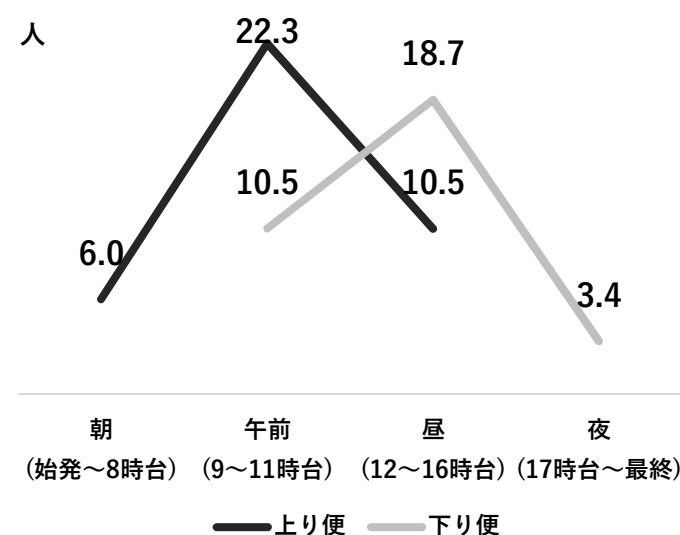
▼日別・月別利用者数

項目	日	便
R01	71.5	4.5

▼月別利用者数



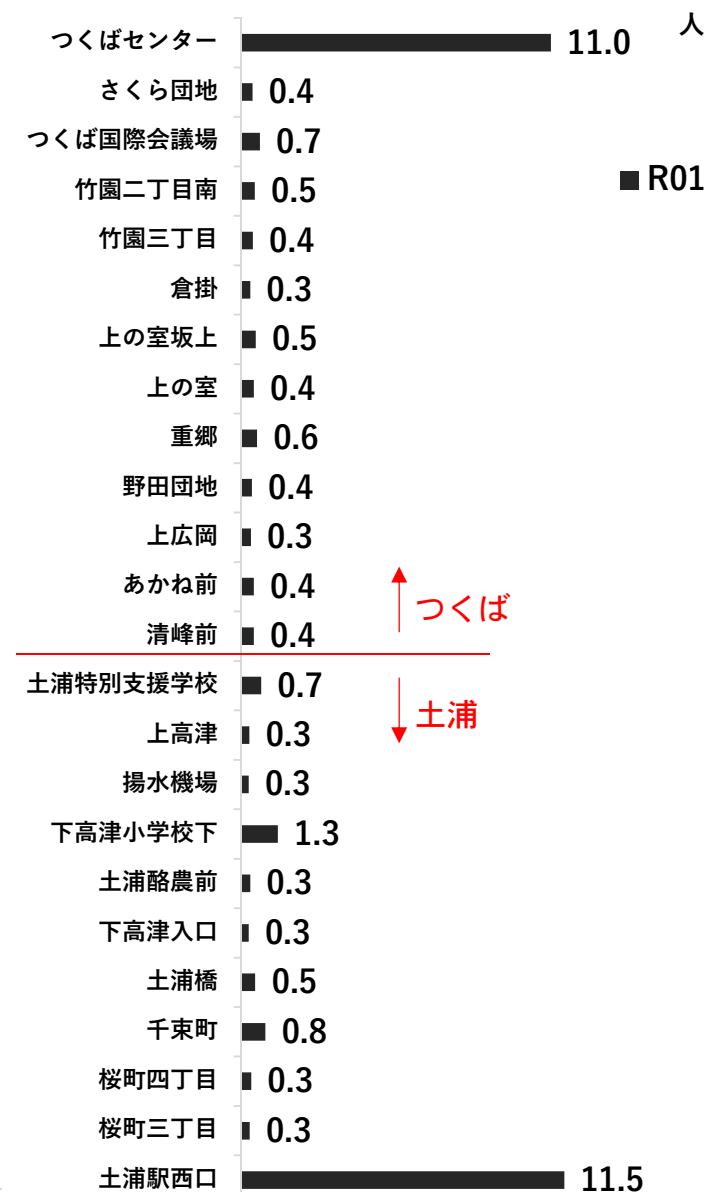
▼時間帯別利用者数



路線バス増便実証実験事業 利用状況

- 路線バス増便実証実験事業の利用者数は6,023人で、1日当たり平均32.9人（1便当たり4.5人）の利用があった。
- 1便当たり利用者数は、当初の事業計画（4.5人）と同等の結果になっている。
- 停留所別利用者数は、つくばセンターと土浦駅西口間の駅間移動が顕著にみられた。また、イオンモール土浦最寄りの下高津小学校下の利用者も一定数みられた。
- 時間帯別利用者数は、午前は上り便（土浦方面）利用者が、昼は下り便（つくば方面）利用者が多くみられた。

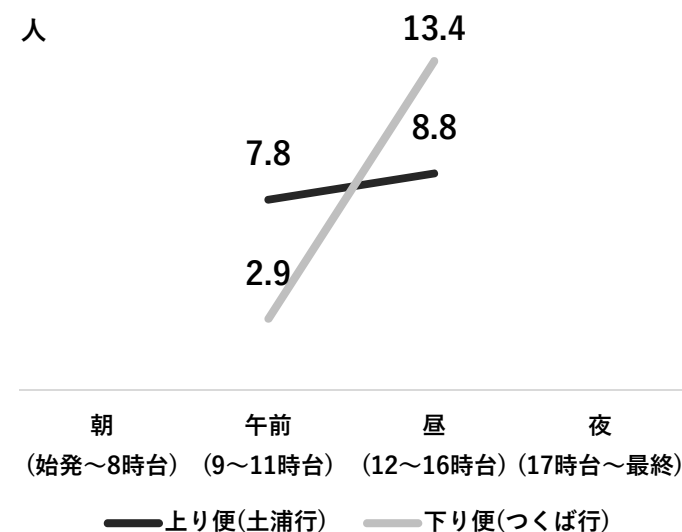
▼停留所別利用者数（1日当たり）



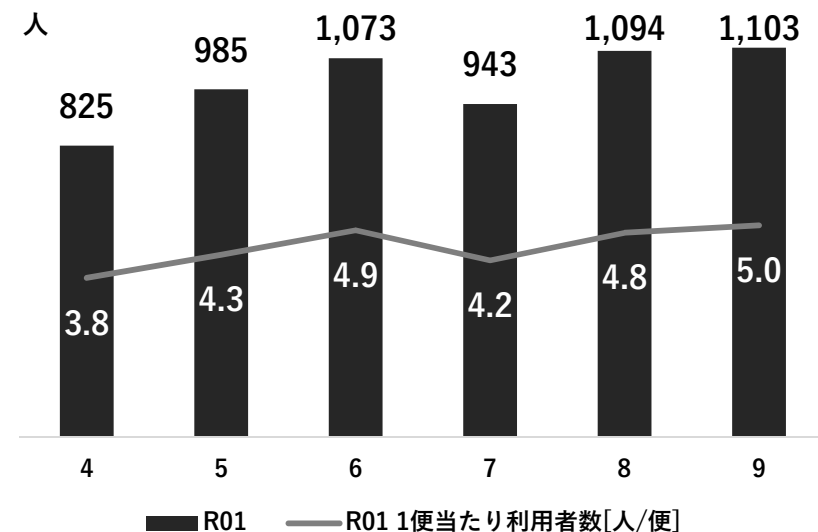
▼日別・月別利用者数

項目	日	便
R01	32.9	4.5

▼時間帯別利用者数



▼月別利用者数



平成30年度広域連携バス利用実績

令和元年(2019年)11月14日(木)
つくば市都市計画部総合交通政策課

（１）桜川市・つくば市間広域連携バス利用実績

1 利用実績

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
4 月	1,480	5,325	360%
5 月	1,608	6,107	380%
6 月	1,635	6,082	372%
7 月	1,330	4,676	352%
8 月	1,244	2,776	223%
9 月	1,474	5,238	355%
10 月	3,297	6,133	186%
11 月	3,819	6,133	161%
12 月	3,463	5,359	155%
1 月	3,667	5,245	143%
2 月	4,365	5,858	134%
3 月	3,890	5,247	135%
合計	31,272	64,179	205%

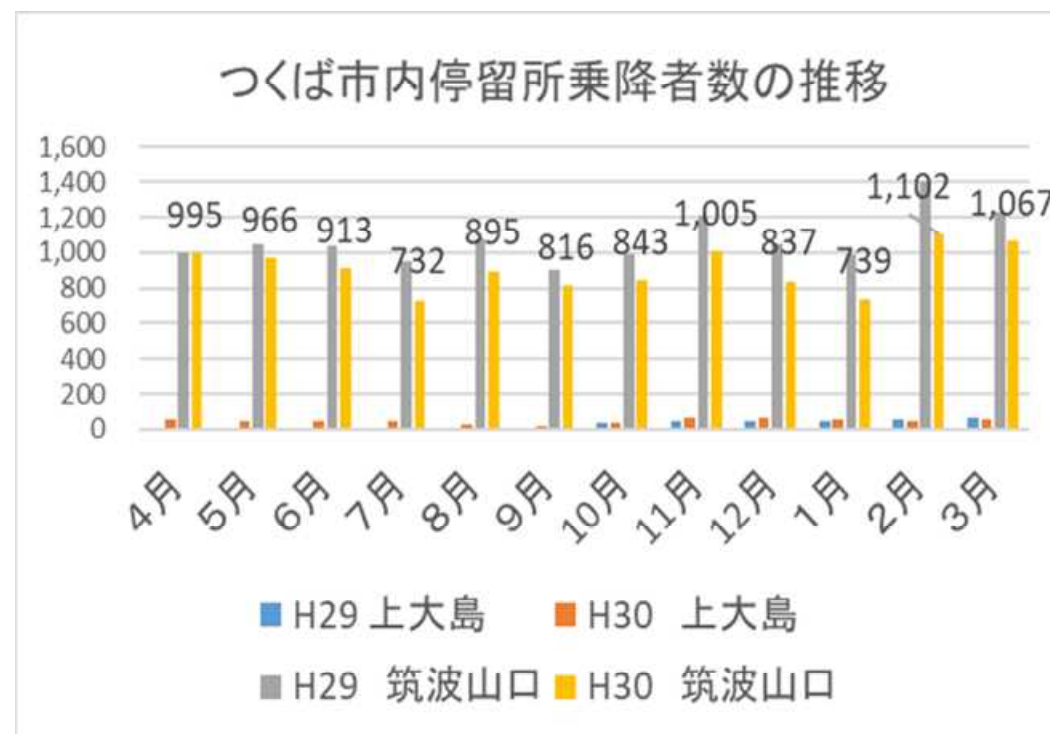
- ・平成30年度は、64,179人の利用者がいた。対前年比205%であった。
- ・平成29年10月に実施した桜川市真壁庁舎岩瀬庁舎間の延伸や平成30年4月の桃山学園開校に伴うバス通学児童が増加したことにより、利用者が大幅に増加している。
- ・10月にバス停を29か所から43か所に増設したことに伴い、車輛も増車し、同じ便数を確保している。

2 つくば市内停留所乗降者数

- ・桜川市広域連携バスでは、つくば市内に「上大島」、「筑波山口」停留所を設置している。
- ・「上大島」停留所は、平成29年10月に新設されている。
- ・筑波山口の乗降者数は、1,957人（対前年度比15.2%）減少した。
- ・上大島の乗降者数は、17人（対前年度比 10月-3月 5.6%）増加した。
- ・今後も継続してモニタリングを実施し、経年比較をしていく。

市内各停留所乗降者数

	上大島		筑波山口	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
4月		57	997	995
5月		51	1,047	966
6月		45	1,034	913
7月		44	947	732
8月		32	1,071	895
9月		20	900	816
10月	33	38	985	843
11月	51	64	1,214	1,005
12月	44	65	1,048	837
1月	51	54	991	739
2月	60	42	1,403	1,102
3月	61	54	1,230	1,067
合計	300	566	12,867	10,910



3 時間帯別乗り継ぎ状況（平成30年度上半期）

- ・「桜川市広域連携バス⇔つくばバス」間の乗継については、次に乗るバスが100円引きとなる乗継券を発行している。（乗継者数は、乗継券の発行数・回収数の数値）
- ・乗継者数の状況を分析すると、平日休日ともに、午前のつくば市方面（上り便）で高く乗継利用されている傾向にあった。

【上り便】桜川市方面→つくば市方面への乗継

上半期(上り)

広域連携バス	つくばバス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発	乗継者数	乗継者数
7:10	7:25	35	29
7:40	7:50	61	
8:45	9:00	98	110
9:35	9:55	92	
10:30	10:55	82	
10:45	10:55		67
10:50	10:55	60	
12:00	12:25		47
12:45	12:55		23
13:45	13:55	72	
14:00	14:25		56
15:30	15:50	33	
15:45	15:50	26	
16:00	16:20		50
16:45	16:50	16	
17:15	17:20	26	
17:30	17:55		27
18:45	18:55	32	13
19:20	19:25	7	7
20:30	20:50	10	13
計		650	442

【下り便】つくば市方面→桜川市方面への乗継

上半期(下り)

つくばバス	広域連携バス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発	乗継者数	乗継者数
7:41	7:50	10	
9:16	9:25	29	57
10:46	10:55	58	31
11:11	11:25	35	45
13:11	13:25	20	33
14:11	14:25	40	
14:41	15:00	63	38
16:11	16:20	58	24
17:11	17:20	53	20
18:11	18:20	2	31
18:41	19:05	21	7
20:41	20:50	0	18
計		389	304

3 時間帯別乗り継ぎ状況（平成30年度下半期）

- ・乗継者数の利用状況は、上半期と同様に平日上り便において、高い傾向にあるが、下半期は、午前下り便の利用が多い。
- ・乗継者数は、上半期と比較し159人増加している。

【上り便】桜川市方面→つくば市方面への乗継

下半期(上り)

広域連携バス	つくバス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発	乗継者数	乗継者数
7:05	7:25		28
7:10	7:25	60	
7:40	7:50	51	
8:45	9:00	93	
9:00	9:25		54
9:40	9:55	112	
10:15	10:25		56
10:30	10:55		
10:45	10:55	92	
12:00	12:25	58	43
13:00	13:25		16
14:00	14:25	78	33
15:30	15:50	65	
16:00	16:20	51	114
16:45	16:50	30	
17:00	17:20		19
17:30	17:55	17	14
18:45	18:55	14	9
19:20	19:25	5	
20:30	20:50	7	3
計		733	389

【下り便】つくば市方面→桜川市方面への乗継

下半期(下り)

つくバス	広域連携バス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発	乗継者数	乗継者数
7:41	7:50	17	
9:16	9:25	45	90
10:11	10:25		65
11:11	11:25	96	78
13:11	13:25	67	36
14:11	14:25	38	18
14:41	15:00	30	14
16:11	16:20	44	32
17:11	17:20	25	
18:11	18:20	41	47
18:41	19:05	21	5
20:41	20:50	13	
計		437	385

（２）筑西市広域連携バス利用実績

1 利用実績

	平成29年度	平成30年度	対前年度比
4 月	2,480	3,236	130%
5 月	2,760	3,478	126%
6 月	2,520	3,327	132%
7 月	2,587	3,282	127%
8 月	2,703	2,930	108%
9 月	2,551	2,970	116%
10 月	2,848	3,692	130%
11 月	3,125	3,799	122%
12 月	3,007	3,450	115%
1 月	3,138	3,283	105%
2 月	2,729	2,871	105%
3 月	2,956	3,199	108%
合計	33,404	39,517	118%

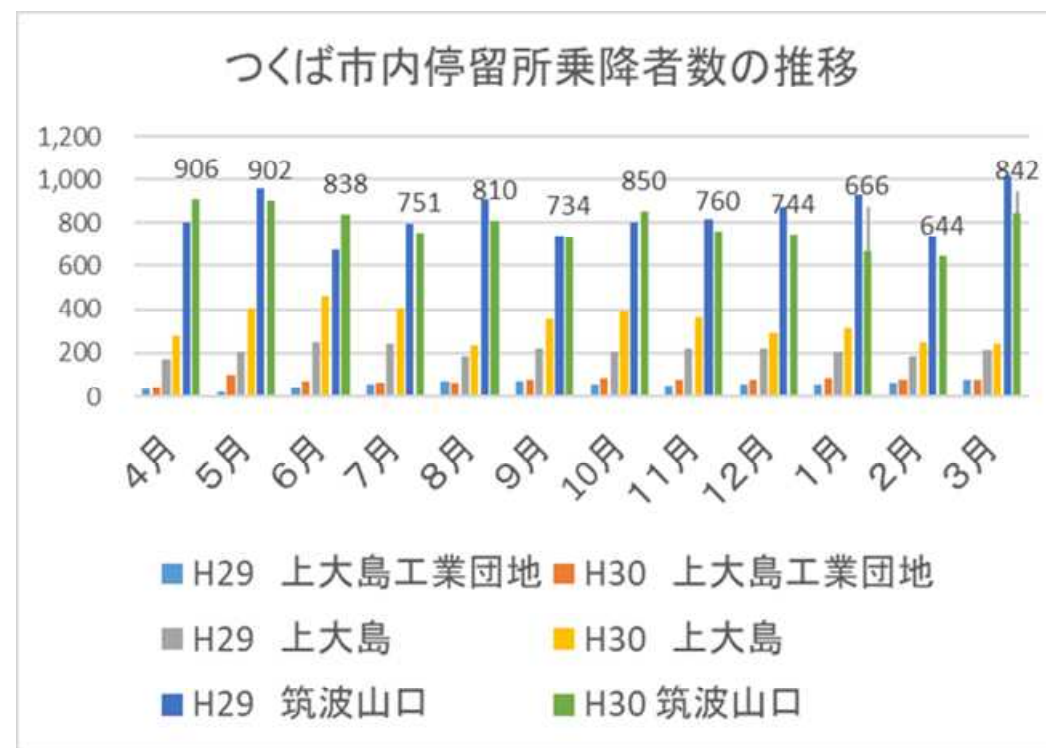
- ・平成30年度の利用者数は、前年より6,113人多く、対前年比118%であった。
- ・停留所の増設（明野中学校東）及びあけの元気館経由便を増やしたことや、高校生の通学利用の増加、高校生等の土日利用などが増加の要因と考えられる。
- ・平成30年10月に茨城県西部メディカルセンターの開院に伴い、一部ルートを変更してるが、運行便数は変わっていない。

2 市内停留所乗降者数

- ・筑西市広域連携バスでは、つくば市内に「上大島工業団地」、「上大島」、「筑波山口」停留所を設置している。
- ・「上大島工業団地」の乗降者数は、230人（対前年比34.6%）増加した。
「上大島」の乗降者数は、1,471人（対前年比58.3%）増加した。
「筑波山口」の乗降者数は、595人（対前年比23.6%）減少した。
- ・今後も継続してモニタリングを実施し、経年比較をしていく。

市内各停留所乗降者数

	上大島工業団地		上大島		筑波山口	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
4月	35	45	174	276	805	906
5月	22	98	209	406	959	902
6月	43	73	247	465	676	838
7月	56	67	241	404	798	751
8月	74	61	184	237	906	810
9月	70	75	219	358	735	734
10月	59	82	205	388	800	850
11月	52	76	220	364	816	760
12月	56	75	219	293	870	744
1月	59	82	204	314	929	666
2月	64	81	187	248	735	644
3月	75	80	213	240	1,013	842
合計	665	895	2,522	3,993	10,042	9,447



3 時間帯別乗り継ぎ状況（平成30年度上半期）

- ・「筑西市広域連携バス⇔つくバス」間の乗継についても、次に乗るバスが100円引きとなる乗継券を発行している。（乗継者数は、乗継券の発行・回収数の数値）
- ・全日同一ダイヤのため、平日と土休日を分けていない。
- ・大きく目立って乗継券が利用されている時間帯はないが、傾向として、上り便（つくば市方面）は午前中、下り便（筑西市方面）夕方～夜間にかけて多い。

【上り便】筑西市方面→つくば市方面への乗継

上半期(下館駅 ⇒ 筑波山口行)

広域連携バス 筑波山口着	つくバス 筑波山口発	乗継者数
6:50	6:55	91
8:47	9:00	226
11:20	11:25	209
13:14	13:25	65
14:50	14:55	55
16:40	16:50	97
18:45	18:55	104
20:04	20:50	57
計		904

【下り便】つくば市方面→筑西市方面への乗継

上半期(筑波山口 ⇒ 下館駅行)

つくバス 筑波山口着	広域連携バス 筑波山口発	乗継者数
9:16	9:30	42
11:11	11:30	62
13:11	13:20	90
14:41	15:00	124
16:41	17:00	113
19:11	19:20	108
20:41	20:45	70
計		609

3 時間帯別乗り継ぎ状況（平成30年度下半期）

- ・ 下期の乗継者数は、上下便合計で、1,401人で、前年度比で26%減少した。
- ・ 時間帯別では、上期と比較しても、乗降者数の傾向に変化はなかった。
- ・ 引き続き状況をモニタリングしていく。

【上り便】筑西市方面→つくば市方面への乗継

下半期(下館駅 ⇒ 筑波山口行)

広域連携バス 筑波山口着	つくバス 筑波山口発	乗継者数
6:50	6:55	84
8:52	9:00	213
11:37	11:55	185
13:37	13:55	83
14:37	14:55	49
16:52	17:20	87
18:45	18:55	56
20:40	20:50	57
計		814

【下り便】つくば市方面→筑西市方面への乗継

下半期(筑波山口 ⇒ 下館駅行)

つくバス 筑波山口着	広域連携バス 筑波山口発	乗継者数
9:16	9:30	48
11:41	11:50	57
12:41	12:50	52
14:41	15:00	133
16:41	17:00	93
19:11	19:20	135
20:41	20:45	69
計		587

つくバス・つくタク小人割引の見直し

令和元年(2019年)11月14日(木)
つくば市都市計画部総合交通政策課

つくバス・つくタク小人割引の見直し

●見直しの理由

利用者から、「保護者」の定義が分かりずらいと意見があったことから、「同伴者」に改め、記載内容の変更を行う。

「同伴者」とは「幼児と同伴し、運賃を支払って乗車する小学生以上」を指す。

新	旧
小人割引 ●小学生以下の小人 (<u>運賃を支払って乗車する同伴者【小学生以上】1名につき幼児は2人まで無料です。</u>)	小人割引 ●小学生以下の小人 (保護者同伴の未就学児童は2人まで無料です。)

参考 関東鉄道株式会社 バス運賃取扱要領

